

第2次千葉市文化芸術振興計画年次報告書(平成28年度実施状況及び平成29年度実施計画)【体系順】

基本施策1 文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」

(1) 多彩な文化芸術イベントの開催

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度決算額(千円)	平成29年度予算額(千円)	平成28年度達成度	備考
					市の関わり	共催 負担金									
1	基本施策1 (1) ①	基本施策2(1)③ 基本施策3(3)① 基本施策3(3)② 基本施策4(2)①	千葉市民芸術祭	千葉市文化連盟が市内文化施設等において行う、茶道華道・音楽・文芸・伝統芸能・演劇・美術などの催しにより、多くの市民が芸術文化に触れる機会を創出する。	その他 千葉市文化連盟	市民局 生活文化課	市民局 生活文化課	開催日程：開幕式典2月26日(日) 各行事3月4日(土)～3月26日(日) 会場：千葉市民会館ほか市内6会場 内容：千葉市文化連盟に所属する団体が、茶道華道、文芸、音楽、伝統芸能、演劇、美術の6分野で計16行事を開催(他、協賛行事「ちば映画祭」) 来場者数：32,423人	来場者数の増加 (平成27年度24,341人)	開催日程：2月下旬～3月下旬 会場：千葉市民会館ほか市内各会場 内容：千葉市文化連盟に所属する団体が、茶道華道、文芸、音楽、伝統芸能、演劇、美術の分野で行事を開催	来場者数の増加 (平成28年度32,42人)	総事業費 19,282	総事業費 14,670	B	
2	基本施策1 (1) ①	基本施策1(2)① 基本施策1(2)② 基本施策2(1)③ 基本施策3(1)② 基本施策4(2)②	ベイサイドジャズ千葉	ジャズを中心とした音楽文化の振興と街の賑わい創出や活性化のため、ジャズストリートを中心としたコンサートなどのジャズイベントを開催する。	(公財)千葉市文化振興財団・ベイサイドジャズ千葉実行委員会	市民局 生活文化課	市民局 生活文化課	ベイサイドジャズ千葉19回目の平成28年度は、デモンストレーション、ジャズクルージングなどのイベントを実施したほか、メインイベントとして千葉市文化センターで「前夜祭コンサート」、中央地区(JR千葉駅～中央公園・文化センター周辺、千葉みなと)で「ジャズストリート」を実施した。 また、イベントとして、初開催のアマチュアジャズコンペティションのほか、デモンストレーションやジャズクルージングなど各種イベントも実施する。 ・デモンストレーション(7月17日、8月21日、9月18日・23日・25日・5回) ・そごう千葉店正面入口前広場 来場者計350人 ・ジャズクルージング(8月27日・2回) ・千葉みなと旅客船ターミナル発着船舶内 来場者244人 ・前夜祭コンサート(9月30日) 文化センター アートホール 来場者435人 ・ジャズストリート(10月1日) 文化センター アートホールほか (有料 16会場 来場者2,939人)(無料 6会場 来場者7,285人) ※雨天のため無料2会場中止 ・ジャズヴォーカル講座(9月3日、17日、24日・全3回)文化センタースタジオ1 ・受講者27人 ・ふれあい音楽クリニック(9月11日、25日・全2回)敬愛学園高校音楽室ほか参加生徒数55人 ・ふれあい音楽コンサート(10月1日)中央公園特設ステージ 来場者150人 ※市内の中・高校生を対象に、プロの音楽家による指導を行った後、ふれあい音楽コンサートで成果を発表した。 ・スターダストジャズ(10月2日・2回)科学館 プラネタリウム 来場者220人 ●総来場者数11,705人	来場者数の増加 (平成27年度 14,455人)	ベイサイドジャズ千葉20周年を迎える平成29年度は、メインイベントとして千葉市民会館で「20周年記念コンサート」、JR千葉駅東口広場などで「ジャズウィーク」、中央地区(JR千葉駅～中央公園・文化センター周辺、千葉みなと)で「ジャズストリート」を実施する。 また、イベントとして、初開催のアマチュアジャズコンペティションのほか、デモンストレーションやジャズクルージングなど各種イベントも実施する。 ・デモンストレーション(7月～9月・6回) JR千葉駅東口広場ほか ・ジャズクルージング(7月30日、9月24日・各日2回)千葉みなと旅客船ターミナル発着船舶内 ・アマチュアジャズコンペティション(8月12日)文化センター スタジオ I ・20周年記念コンサート(9月23日)市民会館 大ホール ・ジャズウィーク(9月25日～28日) JR千葉駅東口広場ほか ・ジャズストリート前夜祭(9月29日)文化センター アートホール ・ジャズストリート(9月30日)文化センターアートホールほか ※有料16会場・無料8会場で開催 ・ジャズヴォーカル講座(9月2日、16日、24日・全3回)文化センタースタジオ I ・チューデントジャズクリニック(9月10日、18日・全2回)敬愛学園高校音楽室ほか ・チューデントジャズコンサート(9月30日)中央公園特設ステージ ※市内の中・高校生を対象に、プロの音楽家による指導を行った後、ふれあい音楽コンサートで成果を発表する。 ・スターダストジャズ(未定・2回)科学館 プラネタリウム	来場者数の増加 (平成28年度 11,705人)	総事業費 12,886	総事業費 19,821	B	
3	基本施策1 (1) ①	基本施策2(1)③ 基本施策5(2)①	ワンコインコンサート	市民にプロの演奏家によるコンサートをより身近な場所で気軽に楽しんでもらうため、ワンコインで鑑賞できるコンサートを市内各所で実施する。	(公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課	市民局 生活文化課	地域の交流拠点施設である各区コミュニティセンター等を会場として、気軽に立ち寄り聴くことのできる500円のワンコインコンサートを月1回のペースで12回実施した。 日程：4～3月 12回 1回のコンサート時間は90分程度とした。 会場：各区コミュニティセンター、民間施設等 出演：アーティストバンクちば登録アーティスト ほか 入場者1,098人	入場者数1,200人	地域の交流拠点施設である各区コミュニティセンター等を会場として、気軽に立ち寄り聴くことのできる500円(小学生以下100円)のワンコインコンサートを月1回のペースで12回実施する。 日程：4～3月 12回 1回のコンサート時間は60分程度とする。 会場：各区コミュニティセンター、民間施設等 定員：各会場 100名程度 出演：アーティストバンクちば登録アーティスト ほか	入場者数1,200人	総事業費 1,259	総事業費 1,535	B	
4	基本施策1 (1) ①	基本施策3(1)①	鑑賞事業	市民会館ほか文化施設において、音楽、演劇等の様々な公演を定期的に実施する。	(公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課	市民局 生活文化課	【一般向け】 ①四季のプログラム1「フォレストコンサート2016in千葉市民会館」 日程：8月25日(水) 会場：市民会館大ホール 料金：S席5,500円、A席4,500円 入場者970人 ②四季のプログラム2「和太鼓演奏集団鼓童公演」 日程：9月10日(土) 会場：市民会館大ホール 料金：5,000円 入場者614人 ③千葉市民会館 おひるま寄席 日程：2月24日(金) 会場：市民会館大ホール 料金：2,500円 入場者296人 【こども若者向け】 ④ドリーミングファミリーコンサート 日程：8月8日(木・祝) 2回公演 会場：市民会館大ホール 料金：一般2,000円、小学生以下1,000円 入場者325人 ⑤ちばアニメフェスティバル2017 日程：3月20日(月・祝) 会場：市民会館大ホール 料金：S席8,000円 A席6,000円 入場者203人	①入場者数950人 ②入場者数950人 ③入場者数1,200人 ④入場者数1,700人 ⑤入場者数950人	【一般向け】 ①四季のプログラム1「フォレストコンサート」 日程：12月21日(水) 会場：市民会館大ホール 料金：S席5,500円、A席4,500円 ②四季のプログラム2「千葉市民会館 おひるま寄席」 日程：6月1日(木)、8月10日(木)、11月9日(木)、2月21日(水) 会場：市民会館小ホール 料金：一般2,500円 4回セット券8,000円 ③文化センター連携プログラム「千葉市民創作ミュージカル」 日程：8月27日(日) 2回公演 会場：市民会館大ホール 料金：一般2,000円、小中学生1,000円 ④四月は君の嘘 クラシックコンサート 日程：5月13日(土) 会場：市民会館大ホール 料金：一般4,000円、高校生以下2,000円 ⑤未定 日程：1月 会場：市民会館大ホール 料金：5,000円	①入場者数960人 ②入場者数1,040人 ③入場者数1,200人 ④入場者数950人 ⑤入場者数900人	総事業費 13,502	総事業費 13,174	C	一般向け公演、こども若者向け公演のいずれも市民ニーズに合致した公演を企画し、広報宣伝に努めたが、結果的にチケット売り上げに結びつかなかった。今後その要因を探っていく。
5	基本施策1 (1) ①		アウトリーチ事業	若葉区・美浜区を中心に小学校や高齢者施設にアーティストを派遣し、事業を実施することで、文化芸術に触れる機会の少ない市民に文化芸術の素晴らしさ、楽しさを伝える。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	市民局 生活文化課	市民局 生活文化課	①千葉市立都賀中学校 日程：12月13日(火) 対象：中学1年生 3クラス合計126名 ②千葉市立天戸中学校 日程：12月14日(水)、15日(木) 対象：中学2年生 4クラス合計150名	美浜文化ホール担当1会場 若葉文化ホール担当1会場 動員 各校120名	①千葉市立都賀中学校 日程：12月13日(火) 対象：中学1年生	若葉文化ホール担当1会場 動員 160名	総事業費 1,555	総事業費 730	B	

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度決算額(千円)	平成29年度予算額(千円)	平成28年度達成度	備考
6	基本施策1 (1) ①		小・中・特別支援学校鑑賞教育推進事業	美術館において、学校団体の利用を促すとともに、子どもたちに美術鑑賞の機会を提供するため、鑑賞プログラムを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課-7部 文化振興課	市内の小中学校を対象に、美術館の借り上げたバスで来館、学芸員やボランティアスタッフの鑑賞リーダーとともに鑑賞会を実施 学校数:22校	年間20校程度	市内の小中学校を対象に、美術館の借り上げたバスで来館、学芸員やボランティアスタッフの鑑賞リーダーとともに鑑賞会を実施	年間20校程度	総事業費 925	総事業費 1,188	B	
7	基本施策1 (1) ①	基本施策1(2)① 基本施策2(1)③	ちば市国際ふれあいフェスティバル	外国人市民と日本人市民の交流の場を創出するとともに、国際交流・国際協力団体相互の連携を図る。また、世界の国々や異文化を肌で感じることで、国際交流・国際協力への興味・関心を高めてもらう。	その他 ちば市国際ふれあいフェスティバル運営協議会 後援	総務局 市長公室 国際交流課	開催日:2月12日(日) 会場:Qiball 内容: ①出展イベント 各団体の活動紹介、バザー、販売など ②ステージイベント 世界の民族楽器、民族舞踊など 来場者数:1,300人	事業の運営を通じ、国際交流、国際協力団体相互の連携を深める。 来場者数:1,300人	開催日:2月11日(日) 会場:千葉市民会館 小ホール 内容: ①出展イベント 各団体の活動紹介、バザー、販売など ②ステージイベント 世界の民族楽器、民族舞踊など	事業の運営を通じ、国際交流、国際協力団体相互の連携を深める。 来場者数:1,200人	総事業費 234	総事業費 280	B	
8	基本施策1 (1) ①	基本施策3(3)① 基本施策3(3)②	千葉の親子三代夏祭り	千葉市を美しくする会が、市民意識・ふるさと意識の高揚を図るために、市民総参加のもとまつりを実施する。	その他 千葉市を美しくする会 補助金	市民局 市民自治推進部 市民自治推進課	本祭り 日時:8月21日(日) 場所:中央公園、栄町通り、千葉銀座通り、パルク前、中央一番街、きぼーるアトリウム、千葉神社、千葉駅前、駅前大通り 内容:ステージイベント、武者行列、パレード、みこし・山車の渡御、よさこい鳴子踊り、太鼓、千葉おどり 他 人出:本祭り36.5万人	人出の増加 本祭り37万人 (平成27年度 本祭り36万人)	本祭り 日時:8月20日(日) 場所:中央公園、栄町通り、千葉銀座通り、パルク前中央一番街、きぼーるアトリウム、千葉神社 内容:パレード、みこし・山車の渡御、よさこい鳴子踊り、太鼓、千葉おどり 他 人出:本祭り33万人(見込み)	参加団体数、参加者数の増 (平成28年度実績 参加団体数166団体 参加者数4,728人)	総事業費 15,300	総事業費 12,522	B	
9	基本施策1 (1) ①	基本施策2(1)③	ふれあいコンサート	障害のある人もない人も一緒に演奏を楽しみ、音楽の力で「心のバリア」を越えて、障害の理解や共感を得る場となることを願ってコンサートを開催する。	その他 NPOちば特別支援教育 共催	保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課	平成28年11月6日(日)千葉県教育会館大ホール、きぼーる1Fアトリウムにて開催 ・参加団体 障害者施設等15団体、千葉県立磯辺高校吹奏楽部 ・参加人数 1,190人(入場者800人、主催者・ボランティア111人、出演団体267人、招待者12人)	入場者数の増加 (平成27年度1,013人)	11月頃に平成28年度と同様の内容で開催予定。会場は千葉県教育会館大ホール、きぼーる1Fアトリウムを予定。	入場者数の増加	総事業費 1,370	総事業費 0	C	入場者数が減少した理由は不明であるが、障害者が発表する貴重な場であるため、効果的な広報について、検討してまいります。
10	基本施策1 (1) ①	基本施策2(1)③	障害者作品展	障害者が自らの障害を乗り越え、完成した作品を公開展示することにより、広く社会に日々の活動を理解していただき、障害者には自己表現の場とおして自信と希望を与えると同時に、自立と社会参加の促進に資することを目的に開催する。	その他 一般社団法人千葉市身体障害者連合会 主催 委託料	保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課	平成28年10月5日(水)~7日(金) 千葉市文化センター5階市民サロンにて開催 ・参加出品者数 184人 ・参加出品点数 251点 ・来館者数 316人	出品者数、出品点数、来館者数の増加 (平成27年度実績) ・参加出品者数 198人 ・参加出品点数 265点 ・来館者数 462人	平成28年度と同様の事業を実施予定。	出品者数、出品点数、来館者数の増加	総事業費 275	総事業費 280	C	来館者数が減少した理由は不明であるが、障害者が発表する貴重な場であるため、効果的な広報について、検討してまいります。
11	基本施策1 (1) ①	基本施策1(2)① 基本施策2(1)① 基本施策3(1)② 基本施策4(2)①	パラソルギャラリー	千葉駅前中央公園プロムナード(千葉駅前大通り)にパラソルを並べ「アトスペース」として、出展者のギャラリーやパフォーマンス空間として活用する。	実行委員会 パラソルギャラリー実行委員会 後援	都市局 都市部 都心整備課	開催日:10月1日(土)・2日(日)予定 会場:中央公園プロムナード 内容:パラソルギャラリー SNSを利用した情報発信、カフェスペースの展開による新たな空間活用に取り組んだ。 来場者数:10,710人(2日間)	中心市街地に賑わいを創出するとともに、広報を充実させ、来場者数を増やしたい。 来場者数:11,000人(2日間)	開催日:10月7日(土)・8日(日)予定 会場:中央公園プロムナード 内容:パラソルギャラリー 補助金に依存しない運営体制の確立をめざし、パラソルカフェにおける財源確保や運営体制の見直しを行う。 来場者数:10,710人(2日間)	来場者数:11,200人	総事業費 775	総事業費 500	B	
12	基本施策1 (1) ①		動物公園文化関連イベント	動物公園において、動物に関する理解を深めるため、動物が登場する絵本の読み聞かせや音楽会を開催する。ぬり絵等のワークショップの開催など、動物に関する文化イベントを実施する。	市 主催	都市局 公園緑地部 動物公園	開催日:毎週 土曜日 他 会場:動物科学館 内容:絵本の読み聞かせ 46回開催 ぬり絵 97回開催 各種クラフトづくり 98回開催 動物に関する講演 1回開催 総参加者数 14,311人	参加者数 年間 9,000人	開催日:毎週 土曜日 他 会場:動物科学館 内容:絵本の読み聞かせ ぬり絵 動物に関する講演 など	年間 9,000人	総事業費 0	総事業費 0	A	動物公園ホームページやtwitter等による情報発信に努めた。
13	基本施策1 (1) ①	基本施策5(1)①	中央区ふるさとまつり	中央区区民ふれあい事業の一環として、お年寄りから子どもまで、幅広い年齢層が参加でき、各種団体及び町内自治会の交流や連帯意識を醸成することを目的として、区民による手づくりのまつりを開催する。	実行委員会 中央区ふるさとまつり実行委員会 補助金	中央区 地域振興課	中央公園開催のふるさとまつりに加え、近隣商店街とも連携し、中心市街地を活性化できるイベントを実施した。 また、大学生による企画演出の参画を継続し、ホームタウンであるジェフユナイテッド市原・千葉や商店との連携も引き続き行った。 開催日:10月16日(日) 会場:中央公園及び周辺 内容:中央公園ステージイベント、模擬店 来場者数:120,000人	来場者数の確保 130,000人 (平成27年度 130,000人) (平成26年度 115,000人) (平成25年度 中止) (平成24年度 118,000人)	中央公園開催のふるさとまつりに加え、近接商店街とも連携し、中心市街地を活性化できるイベントを実施する。 また、ホームタウンであるジェフユナイテッド市原・千葉や市教委との連携も引き続き行う。 開催日:10月15日(日) 会場:中央公園及び周辺 内容:中央公園ステージイベント、模擬店	来場者数の確保 120,000人 (平成28年度 120,000人) (平成27年度 130,000人) (平成26年度 115,000人) (平成25年度 中止)	総事業費 4,459	総事業費 3,495	B	

No.	最も特徴的な 施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成28年度 達成度	備考
14	基本施策1 (1) ①		花見川区民まつり	区民意識の醸成・高揚や多世代間の交流を図るため、花見川区内の各種団体の代表者等により花見川区民まつり実行委員会を組織し、区民手作りのまつりを開催する。	実行委員会 花見川区民まつり 実行委員会 補助金	花見川区 地域振興課	開催日:10月23日(日) 会場:花島公園他 内容:文化的イベント、スポーツイベント、子どもイベント、フリーマーケット、ロードトレイン、模擬店、展示PRコーナー スタンプラリー、キャラクターとのふれあいを実施 来場者数:53,500人	入場者数の増加 54,500人 (平成27年度 53,500人)	開催日:10月22日(日) 会場:花島公園他 内容:文化的イベント、スポーツイベント、子どもイベント、フリーマーケット、ロードトレイン、模擬店、展示PRコーナー スタンプラリー、キャラクターとのふれあいを実施	入場者数の増加 54,500人 (平成28年度 53,500人)	総事業費 5,209	総事業費 4,925	B	
15	基本施策1 (1) ①	基本施策3(3)① 基本施策3(3)②	稲毛区民まつり	区民相互の協調と親睦、区民意識の醸成及び高揚を図り、地域の発展に寄与することを目的に、稲毛区内の各種団体による実行委員会と協力して「区民まつり」を開催する。	実行委員会 稲毛区民まつり 実行委員会 補助金	稲毛区 地域振興課	開催日時:10月16日(日) 午前9時10分～午後3時 会場:穴川中央公園他 内容:文化的イベント、子供イベント、体験イベント、スポーツイベント等 来場者数:52,000人	来場者数の確保 50,000人	開催日時:10月15日(日) 午前9時10分～午後3時 会場:穴川中央公園他 内容:文化的イベント、子供イベント、体験イベント、スポーツイベント等	来場者数の確保 50,000人	総事業費 4,532	総事業費 4,495	B	
16	基本施策1 (1) ①		若葉区民まつり	若葉区内各種団体の代表者により組織された実行委員会を中心に、区の特性を活かしたイベント(フリーマーケット、スポーツ大会、区民音頭の発表等)を区民一体となり実施する。	実行委員会 若葉区民まつり 実行委員会 補助金	若葉区 地域振興課	開催日:11月6日(日) 会場:東京情報大学 他 内容: ・舞台プログラム ・子ども広場 ・フリーマーケット・模擬店 ・公共団体等PR・産直市 ・家族バレーボール大会 ・ソフトボール大会 ・ゲートボール大会 ・グラウンドゴルフ大会 来場者数:20,000人	来場者数の増加 20,000人 (平成27年度 18,000人) (平成26年度 中止)	開催日:11月5日(日) 会場:東京情報大学 他 内容: ・舞台プログラム ・子ども広場 ・フリーマーケット・模擬店 ・公共団体等PR・産直市 ・家族バレーボール大会 ・ソフトボール大会 ・ゲートボール大会 ・グラウンドゴルフ大会	来場者数 20,000人 (平成28年度 20,000人) (平成27年度 18,000人)	総事業費 3,286	総事業費 3,790	B	-
17	基本施策1 (1) ①		緑区 ふるさとまつり	緑区内の各種団体の代表者で組織された実行委員会が、区民相互の協調と親睦、また、区民意識の醸成及び高揚を図ることを目的に、子どもからお年寄りまですべての人が気軽に参加できる手作りのイベントを開催する。	実行委員会 緑区ふるさとまつり 実行委員会 補助金	緑区 地域振興課	開催日:11月6日(日) 会場:昭和の森 内容:ステージ 模擬店 フリーマーケット 行政団体等PR 軽スポーツ及び伝承遊び等(参加費:一部有料) 来場者数:40,000人	来場者数の増加 54,000人 (平成27年度 53,000人)	開催日:11月5日(日) 会場:昭和の森 内容:ステージ 模擬店 フリーマーケット 行政団体等PR 軽スポーツ及び伝承遊び等(参加費:一部有料)	来場者数の確保 41,000人	総事業費 4,101	総事業費 4,183	B	
18	基本施策1 (1) ①	基本施策3(3)① 基本施策3(3)②	美浜区民フェスティバル	区民の区民意識の醸成を図り、区としての一体感をさらに高めるため、美浜区民フェスティバル実行委員会を組織し、幅広い年齢層の区民が参加可能な区民手作りの美浜区民フェスティバルを開催する。	実行委員会 美浜区民 フェスティバル 実行委員会 補助金	美浜区 地域振興課	日時:平成28年10月2日(日) 会場:稲毛海浜公園 内容: フェスティバルバンド、太鼓、神輿、踊り、ダンス、模擬店、フリーマーケット、レクリエーションスポーツ(昔遊び・バン喰い競争等)、呈茶席等 来場者数:68,000人	来場者数66,000人	日時:平成29年10月1日(日) 会場:稲毛海浜公園 内容: フェスティバルバンド、太鼓、神輿、踊り、ダンス、模擬店、フリーマーケット、レクリエーションスポーツ(昔遊び・バン喰い競争等)、呈茶席等	来場者数 70,000人	総事業費 4,474	総事業費 4,550	B	
19	基本施策1 (1) ①		ランチタイム コンサート	稲毛区役所の市民ロビーを活用して、千葉市にゆかりのあるアーティストを招き、昼休み時間にコンサートを開催する。	市 主催	稲毛区 地域振興課	開催日時:原則第3金曜日12:10～12:50(年6回) 開催場所:稲毛区役所1階市民ロビー 来場者数:1,599人	来場者数の確保 70人×6回=420人	開催日時:年11回程度 開催場所:稲毛区役所1階市民ロビー	来場者数の確保 490人(70人×7回)	総事業費 440	総事業費 370	A	ちば市政だより 稲毛区版やチラシ等 で広報に努めた。
20	基本施策1 (1) ①	基本施策1(2)① 基本施策4(2)①	まちカフェライブ	緑区民で構成する実行委員会と協働で、区内の飲食店等を会場に演奏会を開催し、文化芸術を気軽に楽しんでもらいながら、地域交流・活性化を推進する。	実行委員会 まちカフェライブ 実行委員会・ア ートタウンおゆみ野 主催 委託料	緑区 地域振興課	開催日:10月23日(日)11:00～20:00 会場:①鎌取コミュニティセンター(メイン会場) ②区内の飲食店等14か所 来場者数900人 内容: 地元音楽愛好家等による演奏会を開催した。 ジャンルは、JAZZ、シャンソン、オペラ、ボサノバ、Pops、二胡など。 開会式を兼ねて、馬頭琴奏者によるスペシャルライブを実施した。	来場者数の増加 1,100人 (平成27年度 1,000人)	開催日:10月22日(日) 会場:①鎌取コミュニティセンター(メイン会場) ②区内の飲食店等数10か所を予定 内容: 地元の音楽愛好家等による演奏会を開催する。 ジャンルは、JAZZ、シャンソン、オペラ、ボサノバ、Pops、二胡など	来場者数の確保 1,000人	総事業費 711	総事業費 611	B	
21	基本施策1 (1) ①		消防音楽隊 コンサート	コンサートを通じて市民に消防広報を行うことを目的として実施する。	市 主催	消防局 総務部 総務課	年に8回、30分～120分程度のコンサートを実施 中央公園 2回(5月11日、12月1日) 観客数:全て50人 千葉市民会館 1回 3月12日(日) 観客数:1,000人 生涯学習センター 5回 7月13日(水)、8月10日(水)、10月25日(火)、11月9日(水)、3月8日(水) 観客数:全て300人 土気あすみが丘プラザ 1回 1月25日(水) 観客数は全て目標通り さらに土気あすみが丘プラザでも開催 観客数:400人	消防音楽隊と市民のふれあう機会をつくり、より多くの市民に音楽を通じたコミュニケーションで防災予防普及を図る。 中央公園では観客数50人 千葉市民会館では観客数1000人 生涯学習センターでは観客数300人の集客を目標とする。	年に6回、30分～120分程度のコンサートを実施 中央公園 2回(5、12月予定) 京葉銀行文化プラザ 1回 3月17日(土) 生涯学習センター 3回 6月14日(水)、7月26日(水)、10月4日(水) 中央公園では観客数50人 京葉銀行文化プラザでは観客数700人 生涯学習センターでは観客数各300人の集客を目標とする	総事業費 480	総事業費 192	B		
22	基本施策1 (1) ①		こころの劇場	市内のホールにて、小学生を対象にミュージカルの鑑賞会を実施する。	その他 劇団四季 共催	教育委員会 事務局 学校教育部 教育指導課	実施日:5月12日(木)、13日(金) 4公演 会場:千葉県文化会館 来場者数:6,911人	来場者数:6,500人	実施日:5月11日(木)、12日(金) 4公演 会場:千葉県文化会館	来場者数:6,500人	総事業費 3,000	総事業費 4,779	B	
23	基本施策1 (1) ②	基本施策1(2)① 基本施策2(1)① 基本施策3(1)②	メディア芸術 振興事業	個性豊かな新しい千葉文化の創造を図るため、将来の文化を担う子どもや若者を主な対象とし、映像メディアを中心としたメディア芸術に関する人材育成、普及啓発などの事業を実施する。	実行委員会 千葉市メディア芸術振興事業実行委員会 主催 負担金	市民局 生活文化課 文化振興課	若者に関心の高いメディア芸術の振興を図るため、3つの子ども向けワークショップを実施した他、声を吹き込むことで音の変化を楽しむ作品も展示した。 事業名:ななめな学校 開催日:2月19日(日) 会場:はまのわ(旧高浜第二小学校)3F 内容:①「音を感じてみよう、気持ちを音にしてみよう」(講師=作曲家、宮内優里さん) ②「自分のカラダをつかってコマ撮り映像をつくってみよう」(デザイナー、岡崎智弘さん)、 ③「動きに合わせて光るコスチュームをつくろう」(西千葉工作室スタッフ) 参加者:75人(定員60人、応募者数153人)	観客数200人	若者に関心の高いメディア芸術の振興を図るため、本市の様々な地域資源の魅力をメディア芸術の力で発掘するとともに、子供向けの体験イベントや若者を対象としたワークショップ等を実施することで将来の千葉文化を担う人材を育てる。 平成29年度も日常生活に文化芸術の視点を取り入れていく試みとして、身近なテーマをメディア芸術という「ななめ」からのアプローチで取り上げた子ども向けのワークショップを実施する。 開催日:2月頃 会場:中心市街地周辺	参加者60人	総事業費 1,999	総事業費 2,000	-	作品展示を主とするイベントを予定していたが、ワークショップを主とするイベントに変更したため。

(2)参加・体験型活動の推進

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成28年度 達成度	備考
1	基本施策1 (2) ①		こども創造体験プログラム (導入編)	文化芸術に触れる機会として、幼稚園から小学生を対象に、コミュニティセンターなどにおいて、子どもの感性や創造性を育てるための参加・体験型ワークショップを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化課 文化振興課	①こどもミュージックプロムナード ・こみゆぶる 園児を対象に12回実施した。講師はアーティストバンクちば登録アーティストとし、1回で完結とした。音楽の楽しさを体験してもらう機会を提供した。 6月7日(火) 高浜幼稚園 美炎トリオ 参加者130人 6月27日(月) あすみ中央幼稚園 美炎トリオ 参加者160人 6月30日(木) 千城東幼稚園 美炎トリオ 参加者74人 7月7日(木) 梅乃園幼稚園 おはやし〜ず 参加者230人 7月7日(木) 泉幼稚園 おはやし〜ず 参加者140人 7月8日(金) 土気中央幼稚園 アルプス音楽団 参加者323人 8月26日(金) ひばり幼稚園 アルプス音楽団 参加者240人 9月7日(水) のぞみ幼稚園 アルプス音楽団 参加者50人 10月12日(水) 加曾利幼稚園 アルプス音楽団 参加者335人 10月27日(木) 真砂白百合幼稚園 アルプス音楽団 参加者130人 11月4日(金) おゆみの幼稚園 美炎トリオ 参加者185人 11月10日(木) 磯辺白百合幼稚園 アルプス音楽団 参加者175人 参加者計2,172人 ②こども創造体験教室 ・「クレイアニメーション制作」 日程:7月27日(水)(2回実施) 会場:千葉市生涯学習センター 工芸研修室 参加費:1,500円 参加者49人 ・「電気で通るねんどで光るモンスターをつくらう」(2回実施) 日程:8月23日(火)(2回実施) 会場:真砂コミュニティセンター 創作室1 料金:1,000円 参加者34人 ・「身近なものでカメラづくり」(2回実施) 日程:8月24日(水)(2回実施) 会場:鎌取コミュニティセンター 創作室 料金:1,000円 参加者32人 参加者計115人	①参加者数1,200人 ②参加者数120人	①こどもミュージックプロムナード ・こみゆぶる 園児を対象に12回実施する。講師はアーティストバンクちば登録アーティストとし、1回で完結とする。音楽の楽しさを体験してもらう機会を提供する。 日程:6月~12月 全12回 会場:各幼稚園 ②こども創造体験教室 ・「Ototoでオリジナル楽器をつくらう」 日程:7月27日(木)(2回実施) 会場:幕張コミュニティセンター 創作室 参加費:2,500円 ・「電気で通るねんどで光るモンスターをつくらう」(2回実施) 日程:7月28日(金)(2回実施) 会場:穴川コミュニティセンター 創作室 料金:1,500円 ・「身近なものでカメラづくり」(2回実施) 日程:8月3日(木)(2回実施) 会場:千城台コミュニティセンター 創作室2 料金:1,000円	①参加者数1,200人 ②参加者数120人	総事業費 2,378	総事業費 2,670	B	
2	基本施策1 (2) ①		はじめての劇場体験ツアー	文化センターにおいて、子どもたちの劇場への興味を喚起するため、普段は入ることの出来ないホール施設を探検する親子向けツアーを実施することでホールを知るきっかけを創出する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化課 文化振興課	劇場内に隠されたヒントを見つけて謎を解く劇場体験型謎解きゲームを市内民間団体と協働で開発し、施設内をめぐる親子対象の参加型イベントとして実施する。 日程:8月9日(火)(1回実施) 会場:千葉市文化センター アートホール 参加組数:28人(14組) 参加費:1組2,000円	参加者数40人	劇場内に隠されたヒントを見つけて謎を解く劇場体験型謎解きゲームを市内民間団体と協働で開発し、施設内をめぐる親子対象の参加型イベントとして実施する。 日程:8月下旬(1回実施) 会場:千葉市文化センター アートホール 参加費:1組2,000円	参加者数40人(20組)	総事業費 361	総事業費 466	C	新規企画のため告知が不十分だった。
3	基本施策1 (2) ①	基本施策2(1)①③	舞台芸術体験事業	若葉・美浜の文化ホールにおいて、市民参加者を対象に、次代の文化芸術を担う人材の発掘・育成を目的とした舞台芸術ワークショップを実施し、その成果を披露するための公演を実施する。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	市民局生活文化課 文化振興課	①会場:千葉市美浜文化ホール諸施設 日程:2月4日~3月19日 内容:和楽器、日本舞踊体験 ワークショップ全15回、本公演1回 市民参加者28名 ②会場:若葉文化ホール諸施設 日程:12月12日(月)、13日(火) 内容:絵画ワークショップ 千城北小、貝塚小、千城小、白石小特別支援学級他児童 合計65名	①参加人数:20名 ワークショップ:全20回 本公演2回 ②参加人数:40名程度 ワークショップ:10回 本公演1回	①会場:千葉市美浜文化ホール諸施設 日程:5月13日~7月1日 内容:演劇体験 ②会場:若葉文化ホール諸施設 日程:4月~3月 内容:チャリティーディング	①参加予定人数:20名 ワークショップ:全21回 本公演2回 ②参加予定人数:30名程度 ワークショップ:毎月4回程度	総事業費 8,462	総事業費 24,153	B	
4	基本施策1 (2) ①	基本施策5(2)②	こどもまつり	若葉・美浜の文化ホールにおいて、普段、文化芸術鑑賞の機会が少ない子どもたちと保護者に文化芸術と触れ合う機会やホールを知るきっかけを創出する。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	市民局生活文化課 文化振興課	①会場:千葉市美浜文化ホール諸施設 日程:7月20日(火)、21日(水) 内容:カプトムシ狩り体験(入場者874名)、ワークショップ(参加者合計286名)、フリーコンサート(入場者120名) ②会場:千葉市若葉文化ホール諸施設 日程:1月15日(日) 内容:ワンコインコンサート(入場者316名)	①参加人数:600名 ②参加人数:400名	①会場:千葉市美浜文化ホール諸施設 日程:7月25日(火)、26日(水) 内容:カプトムシ狩り体験、ワークショップ、フリーコンサート等 ②会場:千葉市若葉文化ホール諸施設 日程:1月13日(土) 内容:ワンコインコンサート、ワークショップ等	①参加予定人数:700名 ②参加予定人数:300名	総事業費 5,275	総事業費 5,909	B	
5	基本施策1 (2) ①	基本施策3(1)②	こども支援事業	若葉・美浜の文化ホールにおいて、幼少期から文化芸術に触れることで、文化芸術が身近に感じられるよう、子どもたちやその保護者を対象に、気軽に参加できる芸術公演・ワークショップ等を実施する。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	市民局生活文化課 文化振興課	①会場:千葉市美浜文化ホールメインホール 日程:11月11日(金) 内容:千葉市芸術文化新人賞受賞者を含む演奏家による朗読コンサート(入場者数161名) ②会場:千葉市若葉文化ホール 日程:1月14日(土) 内容:テレビタレントのエリックによる英語情操教育コンサート(入場者数432名)	①参加人数:270名 ②参加人数:400名	①会場:千葉市美浜文化ホール音楽ホール 日程:7月1日(土) 内容:千葉市芸術文化新人賞受賞者を含む演奏家による朗読コンサート ②会場:千葉市若葉文化ホール 日程:1月13日(土) 内容:企画中	①参加予定人数:300名程度 ②参加予定人数:400名程度	総事業費 2,764	総事業費 3,807	B	
6	基本施策1 (2) ①		いきがづくり事業	若葉・美浜の文化ホールにおいて、高齢者が元気になる、生きがいづくりやコミュニティ形成へとつながるよう、参加・鑑賞系事業を中心に実施する。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	市民局生活文化課 文化振興課	①会場:千葉市美浜文化ホールメインホール 日程:8月20日(土) 内容:映画上映会(入場者数合計320名) ②会場:千葉市美浜文化ホール音楽ホール 日程:12月15日(木) 内容:歌声コンサート(入場者数133名) ③会場:千葉市若葉文化ホール 日程:10月14日(金) 内容:映画上映会(入場者数合計252名) ④会場:千葉市若葉文化ホール 日程:12月14日(水) 内容:歌声コンサート(入場者数215名)	①参加人数:300名 ②参加人数:130名 ③参加人数:300名 ④参加人数:300名	①会場:千葉市美浜文化ホールメインホール 日程:調整中 内容:歌声コンサート等 ②会場:千葉市若葉文化ホール 日程:7月6日(金) 内容:演芸会等	①参加予定人数:200名程度 ②参加予定人数:200名程度	総事業費 3,772	総事業費 3,340	B	
7	基本施策1 (2) ①		美術館講座 (市民美術講座)	美術館のコレクション等についての理解を深めるため、学芸員が中心となって、収集された美術品と美術史などの関係を説明する講座を開催する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局生活文化課 文化振興課	美術館館長他、学芸員による講座を実施 開催数:10回	年間10回開催	美術館館長他、学芸員による講座を実施 開催数:10回	年間10回開催	総事業費 0	総事業費 0	B	
8	基本施策1 (2) ①	基本施策2(3)②	ギャラリートーク	美術館の展示会への理解を深めるため、学芸員や美術館のボランティアが、展示会の会場で、展示会の内容や展示作品に関する解説を行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局生活文化課 文化振興課	各展示会で実施 実施数:60回(学芸員6回、ボランティア54回)	毎週水曜日14:00~ (年間60回程度)	各展示会で実施	毎週水曜日14:00~ (年間60回程度)	総事業費 0	総事業費 0	B	

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成28年度 達成度	備考	
9	基本施策1 (2) ①		市民ギャラリー・いなげ講習会 (ワークショップ)	市民ギャラリー・いなげにおいて、地域住民のニーズに応じた各種講座(スケッチ会、親子や家族で参加できる美術講座、専門家を講師に招いた写真や木工講座など)を実施する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	※参加者数計232名 【春のスケッチ会】 開催日:4月30日(土) 場所:ギャラリー一庭園および稲毛公園 参加人数:43名 講師:千葉市芸術文化新人賞受賞作家・NARAMIX 【山口マオ版画ワークショップ】 開催日:6月11日(土) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加人数:23名 内容:イラストレーター山口マオ氏と木版画を制作 【夏休み子ども美術講座】 開催日:7月30日(土)、31日(日) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加人数:39名 内容:植物の種や小枝、葉を使って壁飾りを作成。 【白井綾写真講座「稲毛の街を撮る」】開催日:9月24日(土) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげおよび周辺地域 参加人数:12名 内容:千葉市出身の写真家・白井綾氏の指導により、稲毛今・昔をテーマに撮影会を実施。 【秋休み子ども美術講座】 開催日:10月8日(土)、9日(日) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ参加人数:28名 内容:当館所長を講師に、地域の祭「夜灯」の夜に展示する灯ろうを制作 【ほっこりキッチングッズ作り】 開催日:10月1日(土)、15日(土) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加人数:16名 内容:千葉在住の漆芸作家・藤澤保子氏と、手や用途にあったキッチングッズを制作 【色であそぼう〇〇どうぶつ】 開催日:10月22日(土) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加人数:23名 内容:稲毛出身在住のイラストレーター・NAMIK氏と、動物を描くワークショップ 【秋のスケッチ会】 開催日:11月5日(土) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加人数:25名 講師:千葉市芸術文化新人賞受賞作家の佐藤央育、NARAMIX 【ギャラリー灯ろう作り】 開催日:11月12日(土) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加人数:10名 内容:秋休み子ども美術講座同様に、夜灯祭りの灯ろうを制作 【写真講座「夜景を撮る」】 開催日:11月19日(土) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ一庭園および夜灯会場 参加人数:13名 内容:千葉在住の写真家・佐藤華蓮氏を講師に、稲毛あかり祭「夜灯」の夜景を撮影	参加者 230名		【春のスケッチ会】 開催日:4月29日(土) 場所:ギャラリー一庭園および稲毛公園 参加見込人数:20名 特記:講師に千葉市芸術文化新人賞受賞作家・佐藤央育氏、NARAMIX氏を招く。参加者全員の作品を額装し、当館ロビーに展示。 【山口マオ版画ワークショップ】 開催日:6月3日(土) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加見込人数:30名 特記:ワークショップ開催日に合わせて、当館ロビーでは山口マオ氏のミニ絵本原画展を開催する。 【夏休み子ども美術講座】 開催日:7月29日(土)、30日(日) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加見込人数:20名 【白井綾写真講座「稲毛の街を撮る」】 開催日:9月23日(土) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげおよび周辺地域 参加見込人数:20名 特記:千葉市出身の写真家・白井綾氏を講師に招く。 【秋休み子ども美術講座】 開催日:10月7日(土)、8日(日) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加見込人数:20名 特記:地域の祭「夜灯」の夜に展示する灯ろうを制作。 【ほっこりキッチングッズ作り】 開催日:10月14日(土)、28日(土) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加見込人数:10名 【色であそぼう〇〇どうぶつ】 開催日:10月21日(土) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加見込人数:15名 【秋のスケッチ会】開催日:11月4日(土) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ一庭園および周辺地域 参加見込人数20名 【ギャラリー灯ろう作り】 開催日:11月11日(土) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加見込人数:20名 【佐藤華蓮写真講座「夜景を撮る」】 開催日:11月25日(土) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ一庭園および夜灯会場 参加見込人数:20名 稲毛在住・千葉市芸術文化新人賞受賞写真家の佐藤華蓮氏を講師に招いた講座。	参加者 195名	総事業費 309	総事業費 505	B	
10	基本施策1 (2) ①		和装マナー親子教室	市民ギャラリー・いなげにおいて、和装・茶道・華道などを通して日本の伝統文化を学ぶ親子教室を開催する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	開催日:6月18日(土)、7月9日(土)、7月16日(土)、7月30日(土)、8月6日(土)、8月20日(土)、9月3日(土)、9月17日(土)、10月15日(土)、11月19日(土)、12月10日(土) 全11回 会場:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加人数:42名(のべ240名) 実績:和装を通じた茶道、華道、書道などの日本の伝統文化を学ぶ機会の提供の他、当館の和室(第3制作室)、庭園、神谷別荘和室などを活用した事業としても好評であった。	参加者300名		参加者 40名	総事業費 56	総事業費 117	B		
11	基本施策1 (2) ①	基本施策2(1)③	男女共同参画センターまつり	千葉市男女共同参画週間の期間中に、男女共同参画に向けた活動をしている市民団体等及び一般の方々などの交流と活動発表の場として、参加・体験型のイベントを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団ほか 共催	市民局 生活文化課 7部 男女共同参画課	開催日:12月10日(土)・11日(日) 会場:千葉市男女共同参画センター 内容:男女共同参画センターまつりを開催(男女共同参画センター主催企画及び市民企画) 来場者数:2,180人 主催:千葉市男女共同参画センター、千葉市男女共同参画センターまつり実行委員会(千葉市共催)	来場者数の増加 (平成27年度 2,211人)	開催日:12月9日(土)・10日(日) 会場:千葉市男女共同参画センター 内容:男女共同参画センターまつりを開催(男女共同参画センター主催企画及び市民企画) 来場者数:3,000人(見込み) 主催:千葉市男女共同参画センター、千葉市男女共同参画センターまつり実行委員会(千葉市共催)	来場者数の増加 (平成28年度 2,180人)	総事業費 1,005	総事業費 1,139	B		
12	基本施策1 (2) ①		千葉市子ども交流館文化関連イベント	子どもの健全な育成と交流を図るための拠点施設として、様々な講座やイベントを開催している子ども交流館において、文化芸術に関する講座等を実施する。	指定管理者 アクティオ㈱	子ども未来局 子ども未来部 子ども企画課	【なかよし工房・オープン工房】 内容:不用品を利用したリサイクル工作や造形レッスンなど、年齢に合わせたプログラムを提供した。<月4回> 対象:小学生・未就学児と保護者 【グリーンミュージックフェスティバル】 内容:交流館の音楽スタジオを利用する中高生が主体となり、自主コンサートを開催した。<年2回(6月・12月)> 対象:中高生主体 【ヴォーカル・ギター・ドラムの各レッスン】 内容:プロの専門講師による各種レッスンを行った。 対象:小中高生 <各月2回> 【キッズ・アトリエ】 内容:地域に貢献するアーティストたちを講師に迎え、オリジナル性のある絵画・造形・デザインなど、子どもの個性を活かしたモノづくりを体験した。 対象:小中高生 【きぼーる・子どもミュージアム】 内容:「つくる・あそぶ・つながる未来」をテーマとし、文化・芸術関係を含む様々な分野のファンリレーターが提案する遊びや学びのワークショップを体験した。 <年4回> 対象:一般 【子育てふれ愛フェスタ】 内容:親子のふれあいをテーマに、家族が一緒に参加できるワークショップや、演劇や音楽を主体にした参加型舞台芸術を体験した。<年1回> 対象:一般	【なかよし工房・オープン工房】 開催頻度:月4回 【グリーンミュージックフェスティバル】 開催頻度:年2回(6月・12月) 【ヴォーカル・ギター・ドラムの各レッスン】 開催頻度:各月2回 【キッズ・アトリエ】 開催頻度:年3回 【きぼーる・子どもミュージアム】 開催頻度:年4回 【子育てふれ愛フェスタ】 開催頻度:年1回	【なかよし工房・オープン工房】 内容:不用品を利用したリサイクル工作や造形レッスンなど、年齢に合わせたプログラムを提供する。 対象:小学生・未就学児と保護者 【グリーンミュージックフェスティバル】 内容:交流館の音楽スタジオを利用する中高生が主体となり、自主コンサートを開催する。 対象:中高生主体 【ヴォーカル・ギター・ドラムの各レッスン】 内容:プロの専門講師による各種レッスンを行う。 対象:小中高生 【キッズ・アトリエ】 内容:地域に貢献するアーティストたちを講師に迎え、オリジナル性のある絵画・造形・デザインなど、子どもの個性を活かしたモノづくりを体験する。 対象:小中高生 【きぼーる・子どもミュージアム】 内容:「つくる・あそぶ・つながる未来」をテーマとし、文化・芸術関係を含む様々な分野のファンリレーターが提案する遊びや学びのワークショップを体験する。 対象:一般 【子育てふれ愛フェスタ】 開催頻度:年1回 対象:一般	総事業費 1,939	総事業費 2,040	B			
13	基本施策1 (2) ②		中学生の職場体験学習	美術館において、中学生を対象に、職場体験学習の一環として、美術館の仕事について理解してもらい、興味を喚起するため、館内施設の見学や作業体験を実施する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	美術館を職場体験の場として希望する中学生に対応。将来の美術館サポーターを育てる気持ちで、美術館の仕事の一部を体験させる。 参加者数:18校38人	随時 20校 40人程度	美術館を職場体験の場として希望する中学生に対応。将来の美術館サポーターを育てる気持ちで、美術館の仕事の一部を体験させる。	随時 20校 40人程度	総事業費 0	総事業費 0	B		
14	基本施策1 (2) ②		高校生美術館体験プログラム	美術館において、高校生を対象に、作品鑑賞を充実させるとともに、美術館とその仕事についての理解を深めるプログラムを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	美術館とその仕事についての理解を深め、美術館を積極的・主体的に活用し支える人材を育成する。 7月27日実施。参加者数:4校4人。講師:武藤亜希子(作家)	年1回実施	美術館とその仕事についての理解を深め、美術館を積極的・主体的に活用し支える人材を育成する。	年1回実施	総事業費 39	総事業費 50	B		
15	基本施策1 (2) ②		未来への夢を育む音楽芸術体験教室	伝統音楽や声楽、器楽合奏の鑑賞および体験活動を通して音楽文化への理解を深め、我が国や諸外国の芸術文化へのグローバルな視野を広げるとともに、子どもたちの情操を育てる。	市 千葉市邦楽邦舞協会他 主催	教育委員会 事務局 学校教育指導課	市内中学校の体育館等に、邦楽、能楽、声楽、オーケストラの演奏家を招いて、体験教室と鑑賞会を実施する。中学生が、音楽芸術をより身近に感じられるように配慮し、大規模校については、学年単位で実施する。 オーケストラ:6校、邦楽:10校、能楽:4校、声楽:6校 計26校で開催	オーケストラ:6校 邦楽:10校 能楽:4校 声楽:6校 計26校での開催を目指す。	市内中学校の体育館等に、邦楽、能楽、声楽、オーケストラの演奏家を招いて、体験教室と鑑賞会を実施する。中学生が、音楽芸術をより身近に感じられるように配慮し、大規模校については、学年単位で実施する。	オーケストラ:6校 邦楽:10校 能楽:4校 声楽:6校 計26校での開催を目指す。	総事業費 7,303	総事業費 7,303	B		
16	基本施策1 (2) ②		明るい選挙啓発作品の募集	ポスター・標語・書き初めの選挙啓発作品を募集して、入賞作品を展示することにより、明るい選挙と投票率の向上を呼びかける。	市 明るい選挙推進協議会 共催	選挙管理委員会 事務局	募集期間:7月8日~9月9日(ポスター・標語) 10月21日~1月10日(書き初め) 展示場所:本庁舎・各区役所・生涯学習センター 計8か所 展示期間:本庁舎9日間 各区役所29日間(1か所あたり5日間程度) 生涯学習センター18日間 計56日間	展示場所:8か所 展示期間合計:50日	募集期間:5月頃~9月頃(ポスター・標語) 11月頃~1月頃(書き初め) 展示場所:各区役所等 展示期間:1か所あたり5日程度	展示場所:8か所 展示期間合計:50日	総事業費 120	総事業費 214	B		

基本施策2 文化を創造する人材を「育てる」

(1)文化芸術活動を楽しむ市民への支援

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度決算額(千円)	平成29年度予算額(千円)	平成28年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理料									
1	基本施策2 (1) ①		こども創造体験プログラム (実践編)	文化センターにおいて、子どもたちの豊かな創造力を養うため、小学生を対象に、子どもたちが力をあわせて創造的なモノ作りを行うワークショップを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	指定管理料	市民局生活文化課 文化振興課	1分間動画を作成することを目標に、専門家から①テーマの決め方、②台割りの決め方、③撮影のポイントを講義して頂き、各自持っている機材(スマホ・ハンディカメラなど)で撮影・編集したものを最後に発表する。 日程:7月28日(木)・29日(金)、8月1日(月)・2日(火)・3日(水)(全5回) 会場:千葉市文化センター 会議室 対象:千葉市在住・在学の小学4~6年生 定員:12人 参加費:5,000円 参加者数8人	参加者数12人	動画を作成することを目標に、専門家から①テーマの決め方、②台割りの決め方、③撮影のポイントなどを講義して頂き、各自持っている機材(スマホ・ハンディカメラなど)で撮影し1作品を皆で完成させる。 日程:9月~10月(全5回) 会場:千葉市文化センター 会議室 対象:千葉市在住・在学の小学4~6年生 定員:30人 参加費:5,000円	参加者数30人	総事業費 190	総事業費 228	B	
2	基本施策2 (1) ②	基本施策2(1)③ 基本施策3(1)② 基本施策3(2)②	ちば・まちなかステージ	若手のアマチュアミュージシャンやストリートパフォーマーを発掘・支援するため、中心市街地などの市民で賑わうまちなかの会場を確保し、発表の機会を提供する。	その他 (公財)千葉市文化振興財団	共催 補助金	市民局生活文化課 文化振興課	出演対象を39歳以下の若者を含むグループに限定した若者ストリートライブとして、公募によるアマチュアバンドやストリートミュージシャン、パフォーマー等が出演する野外ライブを開催した。 日程:4月~12月(月1回実施 計9回)※4月は荒天のため中止 会場:そごう千葉店正面入口広場 出演:ストリートミュージシャンほか 来場者1,780人	来場者数1,800人	若者ストリートライブとして、公募によるアマチュアバンドやストリートミュージシャン、パフォーマー等が出演する野外ライブを開催する。 日程:4月~12月(月1回実施 計9回) 会場:そごう千葉店正面入口広場ほか 出演:ストリートミュージシャンほか	出演団体数45組	総事業費 817	総事業費 720	B	
3	基本施策2 (1) ②		ユースカルチャー支援事業	文化センターにおいて、若者の文化芸術活動を支援するため、高校生を対象としたライトノベルやイラスト等のワークショップを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	指定管理料	市民局生活文化課 文化振興課	第一線で活躍するクリエイターを講師に迎え、ノベル、イラスト、漫画の3コースで実践的な講義を実施する。 日程:【イラスト】8月20日(土)・9月3日(土)・24日(土)・10月22日(土)・11月26日(土)・12月3日(土) 【ライトノベル】8月20日(土)・9月3日(土)・17日(土)・24日(土)・10月8日(土)・9日(日) 【漫画】8月20日(土)・9月17日(土)・10月8日(土)・10月22日(土)・11月26日(土)・12月17日(土) 会場:千葉市文化センター セミナー室 対象:高校生 定員:各コース20人 受講料:6,000円 参加者数:イラスト9人、ライトノベル4人、漫画2人	受講者数60人	ヘアメイクや衣裳をテーマに、第一線で活躍するクリエイターを講師に招いて、実践的なワークショップ3コースを実施する。 日程:7月~8月(各コース6回程度実施) 会場:千葉市文化センター 会議室 ほか 対象:中学生 定員:各コース20人 受講料:6,000円	受講者数60人	総事業費 1,655	総事業費 4,662	C	サブカルチャーという今までに無いテーマを取り上げ、新たな参加者層を対象としたが、思っていたような参加者数を募ることができなかった。
4	基本施策2 (1) ②		舞台芸術創造ワークショップ	文化センターにおいて、若者の文化芸術活動を支援するため、ユースカルチャーをテーマに小学生から高校生までを対象とした舞台芸術のワークショップを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	指定管理料	市民局生活文化課 文化振興課	経験を問わず、小中高生を対象にヒップホップダンスを中心とし、小学高学年&中学生コース、高校生コースの2コースのワークショップを実施する。 ※文化施設連携公演として市民会館で発表公演を実施する。 日程:11月13日(日)・12月11日(日)・1月8日(日)・1月29日(日)・2月4日(土) 会場:千葉市文化センター 第2リハーサル室 定員:各コース30人 受講料:10,000円 参加者数:小学高学年&中学生コース21名、高校生コース22名	受講者数60人	経験を問わず、小中高生を対象にHIOHOP2コースのワークショップを実施する。 ※文化施設連携公演として市民会館で発表公演を実施する。 日程:7月~8月 会場:千葉市文化センター 第2リハーサル室 定員:各コース30人 受講料:10,000円	受講者数60人	総事業費 906	総事業費 1,031	B	
5	基本施策2 (1) ②		創作市民ミュージカル	文化センターにおいて、市民主体の活動を促進するため、市民有志によって結成された実行委員会が主体となって行う創作市民ミュージカルを支援する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	指定管理料	市民局生活文化課 文化振興課	平成29年度に開催を予定している創作市民ミュージカル本番公演に向けた準備作業を行う。 ・本番公演までの計画作成。 ・演出・脚本/小笠原響、作曲/巨勢典子、アレンジ・音源制作/大曾根浩範、歌唱指導/松葉梨香、振付/明樹由佳、演出助手/小野文子に決定。 ・千葉にちなんだ原作の応募17作品の中から原作決定。脚本の完成。 ・ワークショップ参加者の応募65人 ・オーディション:1月28日(土)、2月12日(日)、2月18日(土) ・ワークショップ3月12日(日)・3月20日(月)・3月26日(日)	準備作業の完了	千葉にちなんだ原作の応募17作品の中から選ばれた作品を元に制作された脚本によりワークショップを実施する。 ※文化センター連携公演として市民会館で発表公演を実施する。 日程:4月~8月 会場:千葉市文化センター スタジオ I ほか 定員:60人 受講料:30,000円	参加者数60人	総事業費 1,024	総事業費 2,852	B	
6	基本施策2 (1) ③	基本施策3(2)①	若葉芸能フェスティバル	若葉文化ホールにおいて、隣接する千城台コミュニティセンターで日頃よりサークル活動を行っている市民などに、発表の機会を提供する。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	指定管理料	市民局生活文化課 文化振興課	会場:千葉市若葉文化ホール 日程:10月22日(土)、23日(日) 出演:千城台コミュニティセンター利用サークル・団体ほか 内容:合唱・ダンス・舞踊等(参加団体16団体)	参加団体:15組	会場:千葉市若葉文化ホール 日程:10月21日(土)、22日(日) 出演:千城台コミュニティセンター利用サークル・団体ほか 内容:合唱・ダンス・舞踊等	参加団体:15組程度	総事業費 1,317	総事業費 1,667	B	
7	基本施策2 (1) ③	基本施策2(3)②	美浜文化ホール開館10周年記念事業「美浜芸術祭」	地域で活動する文化芸術団体や教育機関と連携し、10年で育まれてきた地域や市民とのつながり、地域への感謝を美浜文化ホール開館10周年記念事業「美浜芸術祭」として平成29年度に実施する。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	指定管理料	市民局生活文化課 文化振興課	平成28年度に実施予定の10周年記念事業の実行委員会を設立。 会場:千葉市美浜文化ホール会議室 日程:1月より2回開催 実行委員10名、実行委員会 全6回開催	実行委員会参加者:15名	7月1日(土)開催される美浜文化ホール開館10周年記念事業に向けて実施。 日程:4月より3回程度 実行委員10名 実行委員会 全9回	実行委員会参加者:20名	総事業費 715	総事業費 455	B	

(2) 芸術家の発掘と育成

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成28年度 達成度	備考
1	基本施策2 (2) ①		芸術文化新人賞	千葉市にゆかりのある将来の活躍が期待される新進気鋭の芸術家を表彰する。	市 主催	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	・受賞候補者の推薦を募集(6月1日～8月31日) ・選考委員会を2回開催 ・受賞者を発表 ・授賞式を実施 ・推薦件数 23件	推薦件数の増加 (平成27年度 30件)	・受賞候補者の推薦を募集(6月1日～8月31日) ・選考委員会を2回開催 ・受賞者を発表 ・授賞式を実施	推薦件数の増加 (平成28年度 23件)	総事業費 951	総事業費 1,425	C	広報の効果及び制度に関するニーズの把握不足。
2	基本施策2 (2) ②	基本施策1(2)① 基本施策3(1)② 基本施策5(2)①	新人賞サポートプログラム	芸術文化新人賞(新人賞・奨励賞)受賞者によるコンサートや展示会等を開催し、活躍の場や飛躍の契機となる機会を提供する。	その他 (公財)千葉市文化振興財団 共催 補助金	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	千葉市芸術文化新人賞及び奨励賞受賞者を市民に周知するためのコンサート、ワークショップ、上映会を実施した。 ・堤怜子&東京フィルハーモニー交響楽団弦楽四重奏 7月29日(金)11:00～12:30 千葉市文化センター スタジオ I 来場者142人 ・東ありヴァイオリンコンサート 8月2日(火)12:10～12:40 NHK千葉放送局 ロビー 来場者100人 ・謎の大陸発見! オリジナル図鑑を作れ!! 8月5日(金)・6日(土)(全2回) 千葉市男女共同参画センター 創作室 参加者17人 ・マツムラケンゾー(松村憲三)映像作品上映会 12月23日(金・祝) 千葉市文化センター セミナー室 来場者35人 延べ来場者294人	延べ来場者数200人	千葉市芸術文化新人賞及び奨励賞受賞者を市民に周知するためのコンサートや展示会を実施する。 日程:10月～11月(全4回) 会場:千葉市文化センター スタジオ I ほか 出演:新人賞受賞者ほか	延べ来場者数200人	総事業費 629	総事業費 820	B	
3	基本施策2 (2) ②	基本施策5(2)①	芸術文化新人賞受賞者による展覧会	ギャラリー・いなげにおいて、美術分野の芸術文化新人賞(新人賞・奨励賞)受賞者による展覧会を開催し、受賞者に発表の場を提供することで活躍の機会の創出を図る。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団 指定管理料	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	「千葉市芸術文化新人賞受賞作家展 牧田愛 Moving」 会期:1月18日(水)～2月5日(日) 会場:千葉市民ギャラリー・いなげ 来場者数:698名	来場者 698名	平成29年度は、ギャラリー・いなげの開館30周年にあわせて、千葉県出身・在住の人気絵本作家、山口マオ氏の画業30周年を記念する展覧会を開催するため、芸術文化新人賞受賞者による展覧会は実施しない。 平成30年度以降の夏のグループ展において受賞者の作品を紹介する機会を検討している。 【参考】※基本施策5(1)①「市民ギャラリー・いなげ展示」にて記載 山口マオ画業30周年記念展 会期:1月31日(水)～2月18日(日) 来場者見込:1000名	-	総事業費 260	総事業費 0	B	

(3) 文化芸術活動を支える人材の育成

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成28年度 達成度	備考
1	基本施策2 (3) ①		音楽ファンリテータ養成講座	文化センターにおいて、アーティストを対象に、地域や学校などで音楽のワークショップをできるような実践的なスキルを学ぶ講座を実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団 指定管理料	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	千葉市にゆかりのある音楽系アーティスト等を対象に、実践的なファンリテーション講座を行う。 日程:6月18日(土)(1回) 会場:千葉市文化センター スタジオ I 定員:25人 受講料:無料 参加者数:23人	受講者数20人	千葉市にゆかりのある音楽系アーティストを対象に、実践的なファンリテーション講座を行う。 周知する場としての「公開講座(無料)と手法を学び実際にワークショップを創る基礎を学ぶ「養成講座(有料)」を実施する。 日程:6月～11月 会場:千葉市文化センター スタジオ I 定員:各30人 受講料:公開講座/無料 養成講座/4,000円	受講者数各30人	総事業費 156	総事業費 730	B	
2	基本施策2 (3) ①		舞台セミナー	文化センターにおいて、音響・照明など舞台芸術の運営に必要な人材を育成するセミナーを開催する。また、ホールに限らず野外公演等でも活躍できるようにフォローアップを行う。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団 指定管理料	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	舞台・音響・照明・出演者を相互に体験することで立場や役割の違いを理解し、チームワークの大切さを楽しみながら学ぶことで、自ら活動できるような人材を養成する。発表公演では、受講者は舞台・音響・照明を担当する。 ①舞台セミナー 日程:6月7日(火)、14日(火)、21日(火)、28日(火)、7月12日(火) 会場:千葉市文化センター アートホール 受講者数:7人 受講料:5,000円 ②発表公演 日程:7月13日(水)(1回) 会場:千葉市文化センター アートホール 入場料:500円 入場者数:54人	①受講者数30人 ②入場者数300人	舞台・音響・照明・出演者を相互に体験することで立場や役割の違いを理解し、チームワークの大切さを楽しみながら学ぶことで、自ら活動できるような人材を養成する。 日程:6月～8月 会場:千葉市文化センター アートホール 受講料:5,000円	受講者数30人	総事業費 474	総事業費 634	C	舞台技術者の育成を目的として音響・照明の実技講習を実施したが、結果的に参加者が定員に満たなかったことから、効果的な広報宣伝を検討課題としたい。
3	基本施策2 (3) ①		アートマネジメント講座	文化センターにおいて、アートプロジェクトや公演などを企画・運営する担い手となるアートマネージャーを育成する講座を実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団 指定管理料	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	芸術文化に精通する講師を招き、市民を対象にアートマネジメント講座を実施する。芸術文化に関する講演のほか、先進取組事例を紹介することで、アートプロジェクトや公演などを企画・運営できるような担い手を増やす。 日程:10月18日(火) 会場:千葉市文化センター セミナー室 定員:80人 受講料:無料 参加者数70人	受講者数80人	芸術文化に精通する講師を招き、市民を対象にアートマネジメント講座を実施する。芸術文化に関する講演のほか、先進取組事例を紹介することで、アートプロジェクトや公演などを企画・運営できるような担い手を増やす。 日程:10月～12月 会場:千葉市文化センター セミナー室 定員:各80人 受講料:公開講座/無料 養成講座/7,500円	受講者数各80人	総事業費 207	総事業費 855	B	
4	基本施策2 (3) ①		市民文化育成事業	若葉・美浜の文化ホールにおいて、千葉市の文化芸術活動を支える人材を育成するため、必要な知識やノウハウの講座を実施する。また、千葉市の文化や魅力を発見し、効果的な発信につながる講座を実施する。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体 指定管理料	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	会場:千葉市美浜文化ホール会議室ほか 日程:9月～11月/計6回実施 内容:市民プロデューサー講座(講座参加者15名)・1月22日卒業公演(公演入場者数272名)	目標参加人数:20名 卒業公演:250名	会場:千葉市美浜文化ホール会議室ほか 日程:8月1日(火)、2日(水) 内容:市民プロデューサー講座番外編「舞台スタッフ育成講座」	参加人数:40名	総事業費 2,698	総事業費 868	B	
5	基本施策2 (3) ①		図工・美術担当者等教職員一日研修	千葉市教育研究会造形部会と協力して、美術等での美術館活用を促し、鑑賞教育への理解を深めるための研修を美術館で行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団 指定管理料	市民局 生活文化課 7部 文化振興課	夏季休業期間に実施 日程:8月18日 参加者数:21人 講師:永山智子(佐倉市立美術館学芸員)	年1回	夏季休業期間に実施	年1回	総事業費 2	総事業費 2	B	

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度決算額(千円)	平成29年度予算額(千円)	平成28年度達成度	備考
					市の関わり	指定管理料									
6	基本施策2 (3) ①		教育委員会中学校造形部会との連携	鑑賞教育や授業での美術館活用について意見交換のほか、市内中学校美術部の合同鑑賞プログラムを実施する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	指定管理料	市民局生活文化課 文化振興課	美術部合同鑑賞会を実施 日程:7月25・26日 参加者数:86人	年1回	美術部合同鑑賞会を実施	年1回	総事業費 0	総事業費 0	B	
7	基本施策2 (3) ②		ボランティア育成講座	文化センターにおいて、施設内外の文化芸術事業をサポートする文化ボランティアを育成する講座を実施する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	指定管理料	市民局生活文化課 文化振興課	これからボランティアを始めたいと考えている、さらには活動のスキルアップをしたい市民向けに接遇の心得、救急救命、イベント従事の豆知識など、サービス研修等の講座を実施する。 日程:【接遇研修】7月4日(月)【AED研修】7月1日(金)・4日(月)(選択式)【職員の豆知識】9月25日(日)【実践研修】9月30日(金)・10月1日(土)・12月17日(土)・2月5日(日)・2月24日(金)(選択式)※講座3回、実践3回 会場:千葉市文化センター 会議室ほか 定員:25人 受講料:無料 参加者18人	受講者数20人	これからボランティアを始めたいと考えている、さらには活動のスキルアップをしたい市民向けに接遇の心得、イベント災害時の図上訓練など、サービス研修等の講座を実施する。 日程:6月～3月 7回程度(講座、実践) 会場:千葉市文化センター 会議室ほか 定員:20人 受講料:無料	受講者数20人	総事業費 176	総事業費 244	B	
8	基本施策2 (3) ②		若葉・美浜文化ホールボランティア育成事業	若葉・美浜の文化ホールにおいて、施設の文化芸術事業をサポートし、ホール運営の補助を務める文化ボランティアを育成し、文化芸術を支える裾野の拡大を図る。	指定管理者 ちばアートウィンド運営企業体	指定管理料	市民局生活文化課 文化振興課	会場:美浜文化ホール・若葉文化ホール 日程:適宜実施 内容:ボランティアスタッフ育成 ボランティア登録10名、舞台芸術体験事業、絵本朗読コンサート等でレセプションを担当。美浜文化ホール開館10周年記念事業実行委員会にも参加。	企画提案業務・自主事業、10周年記念事業等開催時に参加	会場:美浜文化ホール・若葉文化ホール 日程:適宜実施 内容:ボランティアスタッフ育成	実施時期:美浜文化ホール開館10周年記念事業実行委員会として稼働 その他、自主事業・共催事業時に適宜実施	総事業費 592	総事業費 830	B	
9	基本施策2 (3) ②		美術館ボランティア	美術館において、美術館事業をわかりやすく案内できる美術館ボランティアとして必要となる知識・技術を習得するため、研修を行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	指定管理料	市民局生活文化課 文化振興課	研修・勉強会を実施 鑑賞リーダー学習会 8回、現代美術勉強会 9回、他館との合同研修会・交流会 2回。他、教職員1日研修にオブザーバー参加。	通年	研修・勉強会を実施	通年	総事業費 0	総事業費 0	B	
10	基本施策2 (3) ②		市民活動支援センター	市民のボランティア活動やNPO活動などを支援する施設として、活動に必要な情報を提供しているほか、各団体のイベント情報や参加募集案内などを紹介する。	市	指定管理料	市民局市民自治推進部市民自治推進課	(1)ボランティア情報の提供 情報掲載数:797件(平成27年度(11月～3月)情報掲載数:330件) (2)ボランティアに関する相談 相談件数:113件(平成27年度相談件数:83件) (3)会議室の提供 (4)イベント・講座等の開催	(1)ボランティア情報の提供 ボランティア情報掲載数の増加 (2)ボランティアに関する相談 相談件数:前年比増	(1)ボランティア情報の提供 ボランティア情報掲載数の増加 (2)ボランティアに関する相談 (3)会議室の提供 (4)イベント・講座等の開催	(1)ボランティア情報の提供 ボランティア情報掲載数の増加 (2)ボランティアに関する相談 相談件数:前年比増	総事業費 17,019	総事業費 19,218	B	
11	基本施策2 (3) ②	基本施策4(2)①	ことぶき大学校運営事業	高齢者自ら知識・技能を習得し、仲間づくり地域活動への積極的な参加を通じて、豊かで充実した生活が送れるように学習と活動の場を提供する。 また、卒業後に習得した知識や技能を活用し、本市事業や地域活動に積極的に参加する地域活動リーダーやボランティア活動などを行う人材を育成する。	指定管理者 (社福)千葉市社会福祉事業団	指定管理料	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課	【ボランティア実践コース】 [福祉健康学科] 地域活動リーダー養成講座、介護の理論と実習、地域活動実習など [園芸学科] 果菜・葉根菜の作型と品種、野菜生産学習、花の栽培、花壇づくりなど 【創造活動コース】 [美術学科] 日本・西洋美術史、デッサンの基礎理論と実習、油彩画の基礎理論と実習など [陶芸学科] 作陶の基礎理論と実習・素地土の歴史、成形の技法など 授業日数:年間28日 学生数:福祉健康学科71人(3クラス)、園芸学科55人(2クラス) 美術学科17人(1クラス)、陶芸学科:23人(1クラス) 【多世代交流講座】 内容:学生と小学生との世代間交流を目的とした講座を実施する。 開催日:陶芸教室 7・8月の3日間 ×2コース 各日とも2時間 園芸教室 10月末 2コース 各コースとも2.5時間 会場:陶芸教室 ことぶき大学校教室 園芸教室 富田都市農業交流センター 参加者数:陶芸教室 小学生17人 ことぶき学生25人 園芸教室 小学生47人 ことぶき学生42人	-	【ボランティア実践コース】 [福祉健康学科] 地域活動リーダー養成講座、介護の理論と実習、地域活動実習など [園芸学科] 果菜・葉根菜の作型と品種、野菜生産学習、花の栽培、花壇づくりなど 【創造活動コース】 [美術学科] 日本・西洋美術史、デッサンの基礎理論と実習、油彩画の基礎理論と実習など [陶芸学科] 作陶の基礎理論と実習・素地土の歴史、成形の技法など 授業日数:年間28日 定員:福祉健康学科90人(3クラス)、園芸学科60人(2クラス) 美術学科30人(1クラス)、陶芸学科:30人(1クラス) 【多世代交流講座】 内容:学生と小学生との世代間交流を目的とした講座を実施する。 開催日:陶芸教室 7・8月の3日間 ×2コース 各日とも2時間 園芸教室 10月末 2コース 各コースとも2.5時間 会場:陶芸教室 ことぶき大学校教室 園芸教室 富田都市農業交流センター 定員:陶芸教室 小学生18人 ことぶき学生18人 園芸教室 小学生50人 ことぶき学生50人	【ボランティア実践コース】 [入学者数] 福祉健康学科90人 園芸学科60人 【創造活動コース】 [入学者数] 美術学科30人、陶芸学科30人 【多世代交流講座】 [参加者数] 陶芸教室 小学生18人、学生18人 園芸教室 小学生50人、学生50人	総事業費 31,953	総事業費 32,289	-	新規掲載事業
12	基本施策2 (3) ②		ちば生涯学習ボランティアセンター	市内で活躍する、様々な分野の知識や技能を有し、ボランティアとして活躍する意欲を持った市民や団体の情報を収集し、主に市内の公共施設等で学習活動を行っている団体等とのコーディネートを行い、市民の生涯学習活動及びボランティア活動の支援を行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	指定管理料	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課	・登録者の受付・コーディネート ・情報紙「ボランティア・タイム」を発行(7月、11月、3月) ・ボランティアセンター活動促進事業として、講座「春からはじめる!ボランティア 千葉市のボランティア関連施設活用術」を実施 ・ボランティアセンター登録者の紹介として、ボランティアフェア2016を実施 ・各種研修事業(生涯学習指導者基礎研修等)で登録ボランティアに活動発表の機会を提供 ・ボランティアセンターの登録者名簿を市内公共施設へ配布の他、町内自治会向けチラシを作成し、平成28年度は福毛区、若葉区の町内自治会へ名簿と共に配布。 ・ボランティアセンターの登録者名簿作成(3月更新) ・ボランティア登録者スキルアップ研修実施 ・登録者数:1,635人 ・利用件数:231件	多くのボランティアに活動機会を提供する。 ・登録者数:1,700人 ・利用件数:220件	・登録者の受付・コーディネート ・情報紙「ボランティア・タイム」を発行(7月、11月、3月) ・ボランティアセンター活動促進事業として、講座「春からはじめる!ボランティア 千葉市のボランティア関連施設活用術」を実施 ・ボランティアセンター登録者の紹介として、ボランティアフェア2017を実施 ・各種研修事業(生涯学習指導者基礎研修等)で登録ボランティアに活動発表の機会を提供 ・ボランティアセンターの登録者名簿を市内公共施設へ配布の他、町内自治会向けチラシを作成し、名簿と共に配布。 ・ボランティアセンターの登録者名簿作成(3月更新) ・ボランティア登録者スキルアップ研修実施 ・登録者数:1,700人 ・利用件数:230件	多くのボランティアに活動機会を提供する。 ・登録者数:1,700人 ・利用件数:230件	総事業費 0	総事業費 0	B	
13	基本施策2 (3) ②		施設ボランティア養成研修	施設ボランティアとして活動するにあたって必要となる知識・技術を習得するため、研修を行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	指定管理料	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課	(基礎研修)生涯学習、社会教育に関する基礎的知識習得やボランティア活動の意義・役割等の理解を深めるなど、今後のボランティア活動の基盤をつくる。 (専門研修)活動するにあたって必要とされる専門的知識、技術を習得するとともに、具体的な活動にむけた実践的能力を養う。 ※基礎講座、専門講座ともに修了した者は、生涯学習センター施設ボランティア(まなびサポーター)の登録対象者となる。 千葉市立郷土博物館・千葉市立加曽利貝塚博物館・千葉市生涯学習センターの施設ボランティアを志望する市民を対象とし、合同で基礎講座を実施した。 日程:6月21日～7月19日 場所:生涯学習センター 募集人数: ・郷土博物館 6人 ・加曽利貝塚博物館 5人 ・生涯学習センター 6人 (平成28年度:100%) →17人(修了者)/17人(受講生)	・修了率95%以上	(基礎研修)生涯学習、社会教育に関する基礎的知識習得やボランティア活動の意義・役割等の理解を深めるなど、今後のボランティア活動の基盤をつくる。 (専門研修)活動するにあたって必要とされる専門的知識、技術を習得するとともに、具体的な活動にむけた実践的能力を養う。 ※基礎講座、専門講座ともに修了した者は、生涯学習センター施設ボランティア(まなびサポーター)の登録対象者となる。 千葉市立郷土博物館・千葉市立加曽利貝塚博物館・千葉市美術館・千葉市生涯学習センターの施設ボランティアを志望する市民を対象とし、合同で基礎講座を実施する。 日程:6月22日～7月18日 場所:生涯学習センター 募集人数: ・郷土博物館 10人 ・加曽利貝塚博物館 10人 ・美術館 20人 ・生涯学習センター 10人	修了者率95%以上 ※規定の時間数を受講する等により修了証を発行された者	総事業費 190	総事業費 201	B	

基本施策3 文化芸術を育む場を「支える」

(1)文化芸術活動の場の充実

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成28年度 達成度	備考
1	基本施策3 (1) ①		文化施設の効果的な運営	市内文化施設において、各施設の利用向上につながる割引の設定や多言語化などを図る。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団ほか	市民局 生活文化課 文化振興課	【千葉市文化振興財団】 ・千葉市民会館→大ホール・小ホールセット割引、リハーサル割引、学校割引、大ホール平日割引 ・千葉市文化センター→リハーサル割引、控室割引、学校割引、アートホール平日割引 ①施設利用者数(※) 市民会館 324,638人 ②使用件数(※) 市民会館 3,660件、文化センター3,628件 ③施設稼働率(※) 市民会館50.28%、文化センター40.85% ④ホール稼働率(平日) 市民会館51.82%、文化センター46.36% ⑤ホール稼働率(土日祝) 市民会館71.10%、文化センター72.05% ⑥実芸芸術公演本数 市民会館 26本 ⑦文化振興の拠点施設としての件数(※) 文化センター1,025件 ⑧予防的修繕未実施による施設利用不可能日数 市民会館0日(※)・楽屋を除く 【美浜・若葉文化ホール】 リハーサル割引、控室割引、舞台練習割引、メインホール・音楽ホール・リハーサル室セット割引、学校割引、夜間追加割引 ※美浜のみ 期間限定スタジオ割引 施設稼働率 美浜文化ホール50.69%、若葉文化ホール33.14% 【千葉市美術館】 ①友の会入会の促進→運営目的:市民等の美術に関する知識及び教養の向上を図るとともに、千葉市美術館の円滑な運営を図り、芸術文化の振興に資するため、H28年度より入会金制度の廃止と、新たな賛助会員(個人・法人)の設定を行う。 友の会会員数→会員数1,464人、賛助会員件数3件 ②施設稼働率→稼働率向上のため、これまで利用の少なかった夜間区分と全日利用に対して新たな割引料金の設定を行う。 施設稼働率→施設全体での稼働率45% 【京葉銀行文化プラザ】 練習利用割引、学生割引、付帯諸室セット割引、割引15プラン ①利用者数数値目標音楽ホール80,300人 会議室90,900人リハーサル室17,200人 ②稼働率数値目標音楽ホール46.5% 会議室37.0%リハーサル室64.9% 【千葉市民ギャラリー-いなげ】 「地域人材活用プロジェクト」として、いくつかのサークルの立ち上げをサポートした。(美浜区在住のフラワーデザイナー木村聡子氏のフラワーアレンジメント、美浜区在住のファッションデザイナー・マグダ・ドンガレ氏のインドの伝統刺繍、市内中学校美術科の若手教員の勉強会) 実績:展示室制作室稼働率72.8%、展示室制作室利用者数37666名	【千葉市文化振興財団】 施設稼働率 市民会館59% 文化センター45% 【美浜・若葉文化ホール】 施設稼働率 美浜文化ホール53% 若葉文化ホール41% 【千葉市美術館】 ①友の会会員数→会員数2000人、賛助会員件数10件 ②施設稼働率→施設全体での稼働率48% 【京葉銀行文化プラザ】 ①利用者数数値目標音楽ホール80,300人 会議室90,900人リハーサル室17,200人 ②稼働率数値目標音楽ホール46.5% 会議室37.0%リハーサル室64.9% 【千葉市民ギャラリー-いなげ】 ①展示室・制作室目標稼働率50% ②展示室・制作室目標入館者数38000人	【千葉市文化振興財団】 ・千葉市民会館→大ホール・小ホールセット割引、リハーサル割引、学校割引、大ホール平日割引 ・千葉市文化センター→リハーサル割引、控室割引、学校割引、アートホール平日割引、第2リハーサル室・スタジオⅡ学生割引 【美浜・若葉文化ホール】 リハーサル割引、控室割引、舞台練習割引、メインホール・音楽ホール・リハーサル室セット割引、学校割引、夜間追加割引 ※美浜のみ 期間限定スタジオ割引 【千葉市美術館】 ①友の会入会の促進→運営目的:市民等の美術に関する知識及び教養の向上を図るとともに、千葉市美術館の円滑な運営を図り、芸術文化の振興に資するため、特に賛助会員(個人・法人)の入会促進を図る。 ②施設稼働率→稼働率向上のため、夜間区分と全日利用の割引料金の設定 【京葉銀行文化プラザ】 練習利用割引、学生割引、付帯諸室セット割引、割引15プラン 【千葉市民ギャラリー-いなげ】 「地域人材活用プロジェクト」として引き続き新たなサークル立ち上げのサポートを行う。	【千葉市文化振興財団】 ①施設利用者数(※) 市民会館 355,000人 ②使用件数(※) 市民会館 4,400件、文化センター4,100件 ③施設稼働率(※) 市民会館 59%、文化センター45% ④ホール稼働率(平日) 市民会館60%、文化センター44% ⑤ホール稼働率(土日祝) 市民会館78%、文化センター76% ⑥実芸芸術公演本数 市民会館 24本 ⑦文化振興の拠点施設としての件数(※) 文化センター 最終年度10%増 ⑧予防的修繕未実施による施設利用不可能日数 市民会館0日 【美浜・若葉文化ホール】 施設稼働率 美浜文化ホール54.5% 若葉文化ホール42% 【千葉市美術館】 ①友の会会員数→会員数2,000人、賛助会員件数10件 ②施設稼働率→施設全体での稼働率48% 【京葉銀行文化プラザ】 ①利用者数数値目標音楽ホール81,100人 会議室91,800人リハーサル室17,400人 ②稼働率数値目標音楽ホール47.4% 会議室37.8% リハーサル室66.2% 【千葉市民ギャラリー-いなげ】 ①展示室・制作室目標稼働率55% ②展示室・制作室目標入館者数39000人	総事業費 0	総事業費 0	B	
2	基本施策3 (1) ①		文化施設連携公演	各施設の特徴を有効に活用するため、文化センターでワークショップを行い、市民会館で公演を実施するなど施設間の連携を図る。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課 文化振興課	舞台芸術創造ワークショップ公演として、文化センターで実施する舞台芸術創造ワークショップの発表公演とプロによる公演を一体の企画として開催する。 日程:2月5日(日) 会場:市民会館大ホール 料金:一般3,000円、小中高生2,000円 来場者:347人	入場者数930人	舞台芸術創造ワークショップ公演として、文化センターで実施する舞台芸術創造ワークショップの発表公演とプロによる公演を一体の企画として開催する。 日程:9月2日(土) 会場:市民会館大ホール 料金:一般3,500円、小中高生2,500円	入場者数880人	総事業費 2,141	総事業費 2,370	B	
3	基本施策3 (1) ①	基本施策5(1)①	美術品の収集	美術館の展示を充実させるため、美術品収集の基本方針(①郷土作家の作品を中心とした房総ゆかりの作家・作品、②日本の文化の核を形成する近世以降の美術品、③現代美術)に沿った作品を美術館所蔵作品として収集する。	市 主催	市民局 生活文化課 文化振興課	1.房総ゆかりの作品、2.近世から近代の日本画版画、3.現代美術という収集基本方針に沿って、美術館の所蔵品として良質な美術品の収集をおこなう。なお美術品の収集にあたっては、外部の学識者で組織される千葉市美術品等収集審査会において審査を受ける。 情報収集に努め良質な美術品を収集できるように調査、交渉する。 購入作品:4件 評価額計:9,500,000円 寄贈作品:19件 評価額計:27,546,000円 寄託作品:61件 評価額計:37,879,000円	美術館の収蔵作品に相応しい良質な美術品を収集する。	1.房総ゆかりの作品、2.近世から近代の日本画版画、3.現代美術という収集基本方針に沿って、美術館の所蔵品として良質な美術品の収集をおこなう。なお美術品の収集にあたっては、外部の学識者で組織される千葉市美術品等収集審査会において審査を受ける。 情報収集に努め良質な美術品を収集できるように調査、交渉する。	美術館の収蔵作品に相応しい良質な美術品を収集する。	総事業費 175	総事業費 211	A	美術品購入のための寄附を購入に充てたことで、良質な作品を購入することができた。
4	基本施策3 (1) ①		他美術館との連携	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、都内等の美術館との連携により、多言語化対応、Wifi対応及び共通パスポートについて検討する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課 文化振興課	東京都主催の【一都三県の連携した取組】実務担当者会議への参加 9月9日、3月29日出席 議題:一都三県の美術館・博物館の連携した取り組みについて、周遊性の向上について、美術館・博物館の受入環境整備について、海外に向けた広報展開等について、夜間開館について等	通年	東京都主催の【一都三県の連携した取組】実務担当者会議への参加	通年	総事業費 0	総事業費 0	B	
5	基本施策3 (1) ①	基本施策1(1)①	ミュージアムトライアングル連携事業	美術館、科学館の2つのミュージアムが連携しネットワークを強化することで、文化に触れやすく楽しめる環境づくりを推進する。	市 主催	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	・展示、講座、ワークショップ等におけるネットワークの強化。 ・美術館、科学館の2館の入館チケット持参者に対して、相互割引を実施。 ・広報課配信の千葉市メールマガジンの「ミュージアム情報」に相互割引の案内と各館のイベント情報を掲載。 平成28年度実績:48人	相互割引利用者100人	美術館、科学館の2つのミュージアムが連携しネットワークを強化することで、文化に触れやすく楽しめる環境づくりを推進する。そのために、積極的に相互割引の実施をPRしていく。	相互割引利用者100人	総事業費 0	総事業費 0	C	PR方法の種類が少なかったことが考えられる。

(2) 活動しやすい環境の整備

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成28年度 達成度	備考
1	基本施策3 (2) ①	基本施策2(1)② 基本施策2(1)③	芸術文化振興事業 補助金	芸術文化団体が実施する市民参加や人材育成が期待できる芸術文化事業に対し、補助金を交付する。	市 主催	市民局 生活文化課-7部 文化振興課	下記事業に対する補助金を交付する。 (1)市民参加事業 事業に関わる団体(主催者・共催者)の構成員や会員以外の市民の事業参加が見込まれる事業(補助上限20万円):4事業(5事業で交付決定するも、1事業中止) (2)市民育成事業 芸術文化活動をする人材を、2~3年間の複数年度で継続的・段階的に育成・支援する事業(補助上限30万円):1事業 (3)市民参加特別事業 内容、規模等において通例を凌ぐ大規模事業で、幅広い市民の事業参加と、多くの集客が見込まれる事業(補助上限150万円):1事業 出演者数 802人 観客動員数 6,176人	出演者数見込み718人 観客動員数見込み5,789人	下記事業に対する補助金を交付する。 (1)市民参加事業 事業に関わる団体(主催者・共催者)の構成員や会員以外の市民の事業参加が見込まれる事業(補助上限20万円):8事業 (2)市民育成事業 芸術文化活動をする人材を、2~3年間の複数年度で継続的・段階的に育成・支援する事業(補助上限30万円):1事業 (3)市民参加特別事業 内容、規模等において通例を凌ぐ大規模事業で、幅広い市民の事業参加と、多くの集客が見込まれる事業(補助上限150万円):1事業	出演者数見込み2,462人 観客動員数見込み8,910人	総事業費 2,305	総事業費 2,800	B	
2	基本施策3 (2) ①	アーツステーション ちば 【文化団体サポート】		市民主体による文化芸術活動の活性化を図るため、市内文化芸術団体の活動を支援する。	指定管理者 指定管理料	(公財)千葉市文化振興財団 市民局 生活文化課-7部 文化振興課	①新規団体助成 新規の利用団体が練習のためにホールを使用する場合の会場使用料の一部を助成し、将来のホール公演開催の後押しをする。 日程:2月18日(土) 会場:千葉市文化センター アートホール 定員:2団体 参加費:1団体20,000円 参加団体:1団体 ②団体事務局の運営 千葉市文化連盟など団体事務局の運営をおこなう。	新規団体助成2団体	①新規団体助成 新規の利用団体が練習のためにホールを使用する場合の会場使用料の一部を助成し、将来のホール公演開催の後押しをする。 日程:7月~8月 9:00~17:00 会場:千葉市文化センター アートホール 定員:2団体 参加費:1団体20,000円 ②団体事務局の運営 千葉市文化連盟など団体事務局の運営をおこなう。	新規団体助成2団体	総事業費 100	総事業費 352	C	新規団体助成に関し、募集内容と参加希望者との条件が合わなかったため。
3	基本施策3 (2) ②	基本施策1(1)② 基本施策1(2)① 基本施策2(2)② 基本施策2(3)①	スタートアップ チャレンジ事業	文化センターにおいて、市民等から幅広く企画を公募し、事業を実施することで、文化芸術事業の企画運営を経験してもらう。	指定管理者 指定管理料	(公財)千葉市文化振興財団 市民局 生活文化課-7部 文化振興課	市民から企画アイデアを公募し、アーツステーション登録の人材(アーティスト・ボランティアなど)の活用など、サポートしながら企画を実現することで、実践的な経験をしてもらう。 ①企画募集 募集期間:8月17日(水)~9月20日(火) プレゼン:10月15日(土) 応募条件:未発表の子どもを主な対象とした参加型企画。 募集企画数:2企画 料金:無料 応募数:3企画 ②公演 日程:2月18日(土)、3月4日(土) 会場:千葉市文化センター スタジオ I 入場料:2月18日(土)500円、3月4日(土)800円 来場者:2月18日(土)85人、3月4日(土)36人	①応募企画数5企画 ②参加者数30人	市民から企画アイデアを公募し、アーツステーション登録の人材(アーティスト・ボランティアなど)の活用など、サポートしながら企画を実現することで、実践的な経験をってもらう。 ①企画募集 募集期間:5月~8月 応募条件:未発表の子ども向けワークショップ・公演の企画 募集企画数:2企画 料金:無料 ②公演 日程:2月~3月 会場:千葉市文化センター スタジオ I 入場料:1,000円未満	①応募企画数5企画 ②参加者数30人	総事業費 135	総事業費 205	B	

(3) 伝統文化の継承・発展

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成28年度 達成度	備考
1	基本施策3 (3) ①		小学生いなげ講座	市民ギャラリー・いなげにおいて、小学生を対象に「稲毛一海の記憶」を伝える講座を開催する。子供たちに貴重な文化財がある街を誇りに思ってもらえるよう、旧神谷伝兵衛稲毛別荘のガイドと共に稲毛の歴史を解説する。	指定管理者 指定管理料	(公財)千葉市教育振興財団 市民局 生活文化課-7部 文化振興課	開催日:年間通して随時開催 場所:千葉市民ギャラリー・いなげおよび旧神谷伝兵衛稲毛別荘 参加校:11校(628名) 実績:参加校の児童全員に当館で作成した小学生向けの資料を配布し、文化財および稲毛地域の海の記憶を伝えた。	参加校 15校 計1000名	開催日:年間として随時開催 場所:千葉市民ギャラリー・いなげおよび旧神谷伝兵衛稲毛別荘 参加見込:0校 特記:平成29年11月初旬~平成30年12月(予定)に、旧神谷伝兵衛稲毛別荘の耐震改修工事がスタートする。例年、小学校の授業計画の関係上、冬の来館が多いため、今年度は参加が見込めない可能性が高い。	参加校 10校	総事業費 0	総事業費 0	B	
2	基本施策3 (3) ①		郷土芸能の周知啓発	神楽・お囃子等の市内に伝わる郷土芸能に対する市民の理解を深め、ふるさと意識を醸成するために周知啓発を行う。	市 主催	教育委員会 事務局 生涯学習部 文化財課	市のホームページ(千葉市の文化財情報)に、市内に伝わる郷土芸能を紹介するページ(千葉市の民俗芸能)を作成し、情報発信を行った。	ホームページの作成	市内に伝わる郷土芸能を紹介するホームページ(千葉市の民俗芸能)のコンテンツ充実。	アクセス数の増加 1,000件	総事業費 0	総事業費 0	B	
3	基本施策3 (3) ②		市民ギャラリー・いなげ旧神谷伝兵衛稲毛別荘の改修	保存活用計画に基づく施設の改修を実施し、歴史的建造物の保存とともに、地域の文化活動・交流の場としての活用を推進する。	市 主催	市民局 生活文化課-7部 文化振興課	平成29年度の耐震改修工事にに向けた実施設計を行った。 H28年度 契約額 3,985,200円	実施設計の完了	実施設計に基づき、耐震改修工事を行う。 工期:平成29年11月初旬~平成30年12月予定(2カ年継続事業)	予定工事の完了	総事業費 3,985	総事業費 67,600	B	
新規 4	基本施策3 (3) ②	基本施策5(1)① 基本施策4(2)①	地域の歴史文化発掘の場をつくる	地域住民や専門家が集い、地域の歴史文化を発掘、情報共有していく場をつくる。	指定管理者 指定管理料	(公財)千葉市教育振興財団 市民局 生活文化課-7部 文化振興課	①「稲毛お話し会」 開催日:7月9日、12月3日 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加者数:44名 講師:西川明氏(元千葉市史編纂委員)、土屋徹氏(市立郷土博物館学芸員) ②「カフェkaiki」 開催日:8月13日、14日 場所:旧神谷伝兵衛稲毛別荘 来場者:149名 特記:千葉アートネットワーク・プロジェクト(WiCAN)との連携事業	-	①「稲毛お話し会」 開催日:7月9日、12月(未定) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ 参加者見込:30名 講師:西川明氏(元千葉市史編纂委員)他予定 ②「カフェkaiki」 開催日:8月予定 場所:旧神谷伝兵衛稲毛別荘 来場者見込:100名 特記:千葉アートネットワーク・プロジェクト(WiCAN)との連携事業	130名	総事業費 40	総事業費 59	-	新規掲載事業
5	基本施策3 (3) ②		郷土芸能の後継者養成	神楽をはじめお囃子・獅子舞等の郷土芸能を伝承する団体による、後継者養成を支援し、継承・発展を図る。	その他 後援 補助金	教育委員会 事務局 生涯学習部 文化財課	千葉市郷土芸能保存協会加盟団体(12団体)がそれぞれ後継者育成事業を実施 参加延べ人数3,365人	参加延べ人数 3,500人	千葉市郷土芸能保存協会に加盟する12の無形民俗文化財保持団体(神楽連・囃子連)がそれぞれ後継者育成事業を実施	参加延べ人数 3,500人	総事業費 860	総事業費 860	B	

基本施策4 千葉文化の担い手を「つなぐ」

(1) 情報の効果的な収集・発信

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成28年度 達成度	備考
1	基本施策4 (1) ①	基本施策3(3)① 基本施策3(3)②	海気通信 周辺散策マップ	市民ギャラリー・いなげにおいて、地域の歴史や記憶を地元住民から伺う機会を設け(いなげお話し会)、そこから得られた魅力的な情報を「海気通信」として広く発信する。また、稲毛地域を周遊できる散策マップを作成し、地域の見どころを発信する。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課(7)部 文化振興課	発行日:周辺散策マップ(4月1日)、海気通信9号「あぁ憧れのリゾートホテル海気館」(4月1日)、海気通信10号「でかけよう!!観光地・いなげ」(7月1日)、海気通信11号「陸に浮かぶ船「こじま」が見てきたもの」(11月6日)、海気通信号外4号「松も昔の友ならなくに」(9月18日)、海気通信号外5「アタルモハッケイ稲毛八景ケツタイ」(12月4日) 配布先:市内の文化・教育施設、小中学校、商店、メディアほか	発行回数 計4回	発行回数:周辺散策マップ1回、海気通信3回 配布先:市内の文化・教育施設、小中学校、商店、メディアほか	発行回数 計4回	総事業費 117	総事業費 184	A	地域の方の期待に応え、号外も2号発行し、地域の歴史・文化の情報を積極的に発信することができた。
2	基本施策4 (1) ②		アーツステーション ちば 【情報収集・発信】	文化センターにおいて、文化芸術振興の拠点施設として市内外の文化芸術情報を収集するとともに、様々なツールを用いて戦略的かつ効果的に情報を発信する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課(7)部 文化振興課	様々なツールを駆使して文化芸術情報の収集・発信拠点を構築する。 ①文化情報アーカイブの構築に向けた検討 ②文化情報ポータルサイト「アーツステーション」の検討 ③文化情報誌「あでるは」のリニューアル(A4判、8ページ、隔月25日・10,000部発行) あでるは読者ハガキ99通 ④「アーツステーション」アカウントのSNSによる発信 フェイスブック評価「いいね」数353件	①構想の立案 ②ポータルサイト開設準備 ③あでるは読者ハガキ120通 ④フェイスブック評価「いいね」数350件	様々なツールを駆使して文化芸術情報の収集・発信拠点を構築する。 ①文化情報アーカイブの構築に向けた検討 ②文化情報ポータルサイト「アーツステーション」の開設準備 ③文化情報誌「あでるは」のリニューアル(A4判、8ページ、隔月25日・10,000部発行) ④「アーツステーション」アカウントのSNSによる発信	①構想の立案 ②ポータルサイト開設準備 ③あでるは読者ハガキ120通 ④フェイスブック評価「いいね」数350件	総事業費 2,680	総事業費 2,759	B	

(2) 多様な協働・連携の促進

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成28年度 達成度	備考
1	基本施策4 (2) ①		アーツステーション ちば 【交流サロン】	文化センターにおいて、市民が気軽に訪れることができる文化芸術情報の総合窓口として、よろず相談、交流スペースの情報を掲示するほか、活動者の交流を促す親睦交流会も定期的に開催する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課(7)部 文化振興課	市内のイベント情報を掲示しミーティング等にも活用できる交流サロンを開設し、市民が気軽に文化芸術に関する様々な相談ができる「よろず相談」を実施する。 ①よろず相談:通年、60件 ②親睦交流会:11月29日(火)、参加者数42人	①相談件数120件 ②交流会1回	市内のイベント情報を掲示しミーティング等にも活用できる交流サロンを開設し、市民が気軽に文化芸術に関する様々な相談ができる「よろず相談」を実施する。 ①よろず相談(通年) ②親睦交流会(年1回)	①相談件数75件 ②交流会1回	総事業費 25	総事業費 70	C	よろず相談に関し制度を告知する広報が少なかつたため。
2	基本施策4 (2) ①		訪日外国人 おもてなし プロジェクト	文化センターにおいて、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて増加が見込まれる訪日外国人をターゲットとして魅力的な文化イベントを検討する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課(7)部 文化振興課	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた訪日外国人対応の聞き取り調査を市内大学、千葉市国際交流協会、千葉市観光協会、市内民話や郷土芸能の実演者等に実施。 また、アニメ・アイドル・お笑いなど、訪日外国人にアピールできそうな公演の視察を行う。	意見交換会2回	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた訪日外国人対応の調査研究を行うとともに、市内大学、千葉市国際交流協会、千葉市観光協会等と情報共有や連携を図る。 意見交換会 日程:6月~3月(年2回) 会場:千葉市文化センター 会議室	意見交換会2回程度	総事業費 89	総事業費 195	C	意見交換会を行なう前に実態調査を行ったため、H28は意見交換会を行なわなかった。
3	基本施策4 (2) ②		地域連携事業 (夜灯し祭参加)	市民ギャラリー・いなげにおいて、夜灯し祭への参加を通じ、地域の持つ歴史的背景を文化芸術を介して紹介することで、地域への愛着及び文化への興味の向上を図る。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課(7)部 文化振興課	開催日:11月19日(土)、20日(日) 17:00~20:00 開催場所:千葉市民ギャラリー・いなげ庭園 来場者数:2674名	来場目標:1000名(2日間)	開催日:11月25日(土)、25日(日) 場所:千葉市民ギャラリー・いなげ庭園 来場者見込:1000名	来場目標 1000名	総事業費 27	総事業費 30	A	近隣商店街の他、美浜区の小学校3校、さらに稲毛いきいきプラザとも新たに連携し、予想以上の来場があった。
4	基本施策4 (2) ③	基本施策1(1)① 基本施策4(2)①	千葉アート ネットワーク プロジェクト (千葉大学との 連携事業)	大学・美術館・商店街などの多岐にわたる様々な分野の団体が連携し、アーティストと市民が「アートと千葉の新たな結びつき」を共に模索していくプロジェクトを実施する。	実行委員会	市民局 生活文化課(7)部 文化振興課	市民の芸術文化育成・地域活性化を目的とし、千葉大学や地域NPO、市内の小・中学校等と連携、市内外の芸術家を招いてアートイベント等を実施する。 ①アーティストプロジェクト “日常の感度を問う”~千葉を撮ってみえたもの~ワークショップ&上映会 「日常の感度」をテーマにワークショップと映像制作を行った。 2/18、上映&トークイベント。会場:美術館講堂。講師:杉田協士(映画監督)、参加者:35人。 3/18 ちば映画祭参加 ②小学校×美術館×大学による「文人として生きる-浦上玉堂と春琴・秋琴 父子の芸術」鑑賞教育プログラムの実施 協力校:千葉市立西小中台小学校。12/2事前授業・12/8美術館での鑑賞・12/12事後授業 ③コミュニティカフェの実施 8/21、12/17。会場:美術館さや堂ホール	随時	市民の芸術文化育成・地域活性化を目的とし、千葉大学や地域NPO、市内の小・中学校等と連携、市内外の芸術家を招いてアートイベント等を実施する。	年1回	総事業費 765	総事業費 765	B	

基本施策5 文化芸術によって千葉の魅力を「活かす」

(1) 魅力ある資源の活用

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成28年度 達成度	備考
1	基本施策5 (1) ①		車椅子アートプロジェクト	千葉市における車椅子スポーツの振興にあわせて、文化芸術の視点から車椅子をテーマにイベント等を実施する。	市 車椅子アートプロジェクト実行委員会	市民局 生活文化課 文化振興課	東京2020オリンピックパラリンピック競技大会を契機とした、障害者と健常者が共に参加し楽しめる文化芸術施策の実施を目的として、車椅子をテーマとしたイベント等を実施する。 ※本市として初となる「東京2020公認文化オリンピックアワード」認証イベントとして実施 【チバリアフリー2017】 開催日:2月5日(土)10:00~17:00 会場:イオンモール幕張新都心 グランドモール1階 グランドコート 内容: ①ステージイベント ・ファッションショーとダンスパフォーマンス 1日で2回実施 1回目13:00~13:40、2回目15:00~15:40 ②スポーツ用車椅子展示 2台(常設) ③トラベルスクーター「ラギー」試乗体験コーナー ※②及び③は17時まで実施 出演者・スタッフ:103人 観客数:1,000人(1回目500人、2回目500人) トラベルスクーター「ラギー」試乗体験の参加者:45人	観客数200人	東京2020オリンピックパラリンピック競技大会を契機とした、障害者と健常者が共に参加し楽しめる文化芸術施策の実施を目的として、車椅子をテーマとしたイベント等を実施する。 開催日:11月頃 会場:イオンモール幕張新都心	観客数1,000人	総事業費 1,875	総事業費 3,000	A	「東京2020公認文化オリンピックアワード」の認証を得たことで、積極的な広報が図られ、認知度が向上したのと思われる。
2	基本施策5 (1) ①		ちば文化発信事業	文化センターにおいて、県内の文化芸術を一堂に会した見本市(展示・公演・ワークショップ)を全館を使って開催し、広くちば文化の魅力を発信する。	指定管理者 (公財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化課 文化振興課	平成28年度は、伝統芸能にスポットを当て、アーティストバンクちば登録者や千葉市文化連盟所属団体等に参加を促して様々な公演や体験ワークショップを実施する。 文化センター伝統芸能まつり 日程:1月21日(土) 会場:千葉市文化センター 3階アートホール 5階市民サロン、第1リハーサル室、セミナー室 6階和室、第2リハーサル室、スタジオ1 入場料:アートホール (落語)一般1,000円,高校生以下500円 (狂言)一般2,000円,高校生以下1,000円 有料体験参加料 1回500円 入場者数:582人	入場者数430人	文化センター内の多施設を使用した参加、体験型のまつりを実施する。アーティストバンクちば登録者、千葉市文化連盟所属団体等に参加して頂き実施する。 文化センター伝統芸能まつり 日程:11月下旬 会場:千葉市文化センター 全館 入場料:3,000円	入場者数430人	総事業費 1,174	総事業費 1,420	B	
3	基本施策5 (1) ①	基本施策1(1)① 基本施策3(1)①	美術館展示	優れた美術品の鑑賞機会を多くの市民に提供するため、来館者の希望や開催意義などを考慮しつつテーマを設定し、それに基づいた展示を行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課 文化振興課	企画展:「生誕140年 吉田博展」ほか7展覧会を実施 所蔵作品展:「四季のうつろい 時のうつろい」ほか5展覧会を実施 講演会など:企画展会期中を中心として、各種講演会、講座などを実施 展覧会総入場者数:127,174人	入場者数 157,000人	企画展:「ウォルター・クレインの本の仕事」ほか5展覧会を実施 所蔵作品展:「色で楽しむ現代美術」ほか4展覧会を実施 講演会など:企画展会期中を中心として、各種講演会、講座などを実施	入場者数 152,000人	総事業費 108,290	総事業費 133,256	C	入場者アンケートでは、8割以上の入場者が企画内容に満足と回答。 一方、広報面では、入場者増につながるテレビや新聞などで効果的な広報がなされなかった。 また、現代美術についての市内での認知度が不足しており、入場者数が伸びなかった。
4	基本施策5 (1) ①	基本施策1(1)① 基本施策3(1)①	市民ギャラリー・いなげ展示	美術を身近に感じてもらうため、千葉と関わりの深い作家展、千葉市内の子供たちが参加する展覧会など、魅力ある企画展を開催する。1階のロビーでは、不定期で千葉にゆかりのある作家の紹介や市内施設と連携した展示などを行う。	指定管理者 (公財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化課 文化振興課	【観光地いなげ展】 会期:7月5日(火)~17日(日) 来場者:1322名 実績:千葉市立郷土博物館と連携し、稲毛に関する資料を展示。会期中には地域の方が持ち寄った資料も展示し、市民参加型の展覧会となった。 【世界児童画展千葉展】会期:8月2日(火)~7日(日) 来場者:742名 実績:世界の子供たち、千葉県の子供たちの作品400点以上を展示。市内の小中学校も28校が入選した。 【創造海岸いなげ展】 会期:8月9日(火)~21日(日) 来場者:737名 実績:千葉在住の若手作家3人展。油彩画の水谷真弥子氏、木工芸の橋本桐子氏、パフォーマンス・写真の菊地良太氏が新作を含む作品を展示。3氏によるギャラリートークも好評であった。 【千葉市中学美術部展】 会期:8月9日(火)~21日(日) 来場者:832名 実績:市内21校の美術部が参加。多彩な作品200点が展示された。 【アーティストと展示をつくる】 会期:12月20日(火)~1月8日(日) 来場者:492名 実績:千葉大学との連携授業およびその成果発表展。写真家白井綾氏の下、大学生13名と地域の一般受講生3名が世代を超えて写真について学び、48点の写真作品を発表した。 【藤澤保子漆芸の展開Ⅲ】 会期:1月4日(水)~15日(日) 来場者:1640名 実績:千葉在住の漆芸作家・藤澤保子さんの3回目の個展。同時開催のギャラリー・いなげゆかりの作家展は様々なジャンルの17名の作家に参加いただいた。 【牧田愛展】 他の項目にて既出。来場者:698名 ※合計6463名	来場者数 6000名	【海の記憶を伝える稲毛展】会期:7月4日(火)~17日(月祝) 来場者見込:700名 特記:NPO法人ちば・生涯歴史調査会との連携事業。 【世界児童画展千葉展】会期:8月1日(火)~6日(日) 来場者見込:700名 特記:世界の子供たち、千葉県の子供たちの作品400点以上を展示。千葉市からは小学校15校、中学校12校の入選作品150点が出品される。 【創造海岸いなげ展】会期:8月8日(火)~20日(日) 来場者見込:800名 特記:千葉ゆかりの若手作家展。織戸ゆかり氏(絵画)、清水裕貴氏(写真)、デモン・ベイ氏(写真)が参加予定。 【千葉市中学美術部展】会期:8月9日(火)~20日(日) 来場者見込:800名 【アーティストと展示をつくる】会期:12月19日(火)~1月7日(日) 来場者見込:500名 【藤澤保子漆芸の展開Ⅳ】会期:1月4日(木)~14日(日) 来場者見込:1600名 特記:今年度もギャラリー・いなげゆかりの作家展を同時開催。 【山口マオ画業30周年記念展】会期:1月31日(水)~2月18日(日) 来場者見込:1000名	来場者数 6000名	総事業費 1,120	総事業費 1,800	B	

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成28年度 達成度	備考
新規 5	基本施策5 (1) ①	基本施策1(1)① 基本施策3(1)① 基本施策4(2)③	地域の歴史文化を活かした展示	市内の文化施設、博物館施設などとの連携し、地域の歴史文化を活かした展覧会を開催する。	指定管理者	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	企画展「観光地・いなげ展」を千葉市立郷土博物館と連携し開催。同館所蔵の資料から稲毛の歴史文化に関するものを取り上げ紹介した。 開催日:7月5日～17日 会場:千葉市民ギャラリー・いなげ 来場者数:1322名	-	①企画展「海の記憶を伝える『稲毛』展」 千葉市指定有形文化財・旧生浜町役場庁舎を運営するNPO法人ちば・生活歴史調査会と連携し、生浜・稲毛に共通する漁具や海苔の養殖の道具など海の記憶を伝える資料を紹介する。 開催日:7月4日～17日 会場:千葉市民ギャラリー・いなげ 来場見込:700名 ②稲毛八景水彩画コンクール作品展 「稲毛八景」をテーマにした絵画作品を公募し、入選作品を展示することで、地域の歴史文化への関心・愛着を高める。 開催日:11月11日～30日 会場:千葉市民ギャラリー・いなげ 来場見込:500名	1300名	総事業費 40	総事業費 82	-	新規掲載事業
					指定管理料									
6	基本施策5 (1) ①		都市アイデンティティの確立	千葉市の歴史やルーツに根差した地域資源である「加曾利貝塚」「オオガハス」「千葉氏」「海辺」などを活用し、都市アイデンティティ(千葉らしさ)を確立する。	市	総合政策局 総合政策部 政策調整課 (都市アイデンティティ推進室)	千葉開府890年を迎えるにあたり、市民意識の喚起や機運の高まりを促すイベントやサミットの開催など ・千葉市都市アイデンティティ戦略プランの策定 ・まんが「千葉常胤公ものがたり」の配布、販売 ・千葉開府890年記念行事「千葉氏サミット」(8月21日)の開催 ・千葉開府の日記念式典(6月1日)・開府祭(6月4日)の開催 ・千葉開府890年のプロモーション(ポスター・モノレールラッピング等) ・「千葉氏」を紹介する映像の制作 ・千葉駅モノレール連絡通路壁面等への「千葉らしさ」を表現するラッピング ・公用車の市章切り替え(本庁・コミュニティーセンター以外) 資源別認知度(4資源について、詳しく知っていた・知っていたの合計) 加曾利貝塚:90% オオガハス:88% 千葉氏:80% 海辺:88% ※28年度より新たにカウントした指標。今後の向上を目標とする。	千葉市都市アイデンティティ戦略プランに掲載している各種指標の現在値からの向上	都市アイデンティティを確立するため、4つの地域資源を活用しながら、絵本の配付やシンポジウム開催などの年代別アプローチを行うとともに、映像製作などのプロモーション活動を推進する。 年代別アプローチ ・絵本「ちばじまん」の配布 ・4つの地域資源を紹介する下敷きの配布 ・歴史特別講義 ・シンポジウム開催 環境整備 ・駅前案内看板設置 プロモーション活動 ・映像制作(加曾利貝塚、オオガハス、海辺) ・その他プロモーション活動、ポスター・グッズ作成 都市間連携 ・日本遺産申請 ・親子三代夏まつりへの千葉氏ゆかりの都市の出席	千葉市都市アイデンティティ戦略プランに掲載している各種指標の現在値からの向上	総事業費 18,778	総事業費 12,400	-	28年度に新たにカウントした指標であるため。
					主催									
7	基本施策5 (1) ①	基本施策2(2)①	都市文化賞	都市文化の向上や魅力あるまちづくりのため、良好な景観形成に寄与すると認められた街並み、屋外広告物、建築物等を表彰する。	市	都市局 都市部 都市計画課 (都市景観デザイン室)	募集期間:7月1日～8月31日 第1次審査:9月20日 第2次審査:10月16日 受賞者発表:11月28日 表彰式:12月18日(場所:千葉市生涯学習センター) 応募総数:49件 フォーラム参加者:110人	魅力ある景観形成と都市文化の向上に対する意識の啓発と景観資源の発掘を目指す。 応募総数の増加 50件 フォーラムの参加者 150人	募集期間:7月1日～8月31日 選考(時期):第1次(9月)、第2次(10月) 受賞者発表:11月 表彰式を実施:12月17日(場所:千葉市美浜文化ホール) 応募総数:50件 フォーラム参加者:150人	魅力ある景観形成と都市文化の向上に対する意識の啓発と景観資源の発掘を目指す。	総事業費 633	総事業費 633	B	
					主催									
8	基本施策5 (1) ②	基本施策5(1)②	おススメ・カルチャー・プラットフォーム	高校生を中心とした若者文化の情報を集約・発信する仕組みを構築するとともに、高校生による実行委員会の組織化を図る。	実行委員会	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	【Cフェス2017】と題し、高校生によるバンド・ダンス・イラストの発表の場を設けた。 開催日:3月25日(日)11:00～16:00 会場:千葉中央公園(バンド・ダンス会場) 三井ガーデンホテル千葉1階(イラスト展示会場) 内容: ①ステージイベント 出演:計10組 ・バンド演奏9組、ダンスパフォーマンス1組 ※各組に対してアドバイザーによる講評あり ②イラスト展示 出展:計59点 ・個人応募2名、学校出展2校 ※各作品に対してアドバイザーによる講評あり 出演者・スタッフ: ・出演者 106人 ・アドバイザー4人 ・スタッフ12人 観客数:225人	高校生主体のイベントを開催する	高校(顧問教諭や生徒)へのヒアリングを行ったうえで、行政に対するニーズを把握し、前回Cフェスをブラッシュアップする。高校生に対する技術向上や発表の機会の充実等を図ることのできる事業展開を図る。 開催時期:初秋(10月)以降	高校生が活躍するイベント等を開催する	総事業費 1,017	総事業費 2,000	-	高校生が多数出演するイベントは実現できたものの、そもそもその実行委員会の組織化は事業実施に不要であったため、実施する内容が当初想定から大幅に変わった。
					主催 負担金									

(2) 魅力ある人材の活用

No.	最も特徴的な施策項目	他の施策項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成28年度実施実績	平成28年度目標	平成29年度実施予定	平成29年度目標	平成28年度 決算額(千円)	平成29年度 予算額(千円)	平成28年度 達成度	備考
1	基本施策5 (2) ①	基本施策2(1)③ 基本施策2(2)②	アーツステーションちば 【アーティストバンク】	文化センターにおいて、千葉市ゆかりのアーティストのコーディネートを行い、人材育成事業と連動しながら効果的な人材活用を図る。	指定管理者	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	千葉市ゆかりのアーティストの活動の場を広げるためのサポートをする。 ・アーティストの募集 ・登録アーティストの管理 ・登録数(プロ262組・アマチュア50組) ・登録アーティストの幹旋 ・活動数(プロ308件・アマチュア544件) ・登録アーティスト紹介	①登録数(プロ230組・アマチュア50組) ②活動数(プロ50回・アマチュア20回)	千葉市ゆかりのアーティストの活動の場を広げるためのサポートをする。 ・アーティストの募集 ・登録アーティストの管理 ・登録アーティストの幹旋 ・登録アーティスト紹介	①登録数(プロ270組・アマチュア55組) ②活動数(プロ200回・アマチュア30回)	総事業費 25	総事業費 275	B	
					指定管理料									
2	基本施策5 (2) ①	基本施策2(2)②	アトリウムコンサート	生涯学習センターにおいて、千葉市にゆかりのある音楽団体・音楽家や、将来音楽家を目指している学生などに演奏する場を提供するとともに、年間を通して継続的なコンサートをを行い、市民が気軽に音楽に触れる機会を提供することで、千葉市の文化芸術の活性化を図る。また、これにより音楽を通じた生涯学習活動の推進を図るとともに、豊かな市民生活の一助とする。	指定管理者	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	やすらぎのアトリウムコンサート(年5回) ①5月14日(土)「ヴァイオリン・初夏の響感 クラシックからタンゴまで」 出演:ピアノ:田染 泉、ソプラノ:山部 宙、フルート:松下 裕子 ②6月26日(日)「初夏の風にのせて」 出演:ハープ:永井 利枝、オカリナ:栗林 圭子 ③10月1日(土)「あなたと私とあの歌と」 出演:ソプラノ:相馬 奈苗、ピアノ:横林 純子 ④12月4日(日)「マリリンのヴェルベットの音色でクリスカス」 出演:マリリン:島田 美由紀、ピアノ:中山 陽子 ⑤3月5日(日)「ソプラノからの贈り物 春への憧れ」 出演:ソプラノ:松本 薫、ピアノ:金益 研二 *場所はすべて生涯学習センター 来場者数合計1,350人	来場者数:各回300人	やすらぎのアトリウムコンサート(年3回) ①5月27日(土)「チェロと三味線の響演」 出演:チェロ:大森 健一、三味線:桂城 杜生 ②6月24日(土)「初夏の景色」 出演:筆:朝香 桂子、朝香 麻美子 ③10月22日(土)「未定」 出演:ヴァイオリン:奥山 佳代子、フルート:宮本 夢加	来場者数:各回300人	総事業費 240	総事業費 178	B	*場所はすべて生涯学習センター
					その他 指定管理料									
3	基本施策5 (2) ①	基本施策2(2)②	千葉市議会 議場コンサート	千葉市の地域文化の創造と市議会を市民にとってより身近に親しみやすいものとするため、議場に演奏会を開催する。	市	議会事務局 総務課	千葉市芸術文化新人賞受賞者によるコンサートを開催 「千葉市議会議場コンサート2017」 日程:第1回定例会開会日 平成29年2月17日(金) 開会前 場所:千葉市議会議場 一般入場者数:96人(傍聴席92人+臨時席4人)	一般入場者数:92人 (傍聴席上限)	千葉市芸術文化新人賞受賞者によるコンサートを開催 「千葉市議会議場コンサート2018」 日程:第1回定例会開会日 開会前 場所:千葉市議会議場	一般入場者数:92人 (傍聴席上限)	総事業費 300	総事業費 300	A	千葉市にゆかりのある著名なアーティストに出演を依頼したことや、ラジオでの告知など、例年より広報手段を増やした。
					主催 委託料									
4	基本施策5 (2) ②		アーツステーションちば 【文化サポーターバンク】	文化センターにおいて、文化芸術に係る人材の登録・管理・コーディネートを行い、人材育成事業と連動しながら効果的な人材活用を図る。	指定管理者	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	文化サポーターとして登録・管理を行い、「舞台セミナー」、「ボランティア養成講座」などと連携しつつ、財団事業やその他のイベント等への参加を図る。 登録数71人 活動数延べ108人	①登録数60件 ②活動数30件	文化ボランティア、文化マネージャー、文化団体、サークル、NPO、メセナ企業などに活躍の場を広げるサポートをする環境の整備。 文化サポーターとして登録・管理を行い、「舞台セミナー」、「ボランティア養成講座」などと連携しつつ、財団事業やその他のイベント等への参加を図る。	①登録数60人 ②活動数延べ80件	総事業費 67	総事業費 100	B	
					指定管理料									